

ビクター地上・BS・110度CS デジタル  
フルハイビジョン液晶テレビ

型名 **LT-47LH805**  
**LT-42LH805**  
**LT-37LH805**

**E X E**  
エ グ ゼ



写真はLT-47LH805です

究極の表現力へ。

ご購入ありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、  
正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」(8～12ページ)は、必ずお読み  
いただき、安全にお使いください。



**ユーザー登録**  
のすすめ

ご購入いただきました製品について「ユーザー登録」をお願い  
いたします。  
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報や  
イベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。  
また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにも  
ご協力をお願いいたします。

● 下記アドレスのホームページより、ご登録ください。  
<http://www.victor.co.jp/reg/>



# 特長

## 高速液晶 → 40ページ

速い動きがさらにクッキリ。

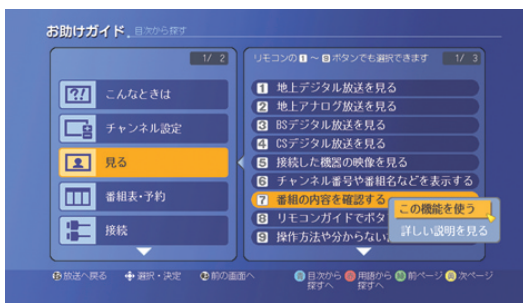
「フルハイビジョン倍速液晶ドライバー」搭載。ニュース番組で流れるテロップ、アクションシーンやサッカー・野球など、動きの速い映像も残像感が目立たずクッキリした映像で楽しめます。

## お助けガイド → 4ページ



操作上の不明点をすぐに解決。

操作がわからなかったらボタンひとつで解説ページを開けます。「知りたいこと」「やりたいこと」からの検索も可能。



## 音声案内 → 7, 24ページ



ボタンを押しまちがえたり、操作を失敗しないよう音声でやさしくアシスト。

ボタンの機能や設定方法をテレビがしゃべってお知らせします。

## はっきりステレオ → 28ページ



声が聞き取りやすいから、音量は控えめに。音量が大きく感じるCMも自然に聞こえる。

人の声に合わせて音量を調節する必要がなく、CMに変わったときに大きく感じる音量も自然に聞こえます。小さな音が聞き取りやすくなるため、臨場感が広がります。

## ゆっくりトーク → 28ページ



ニュースやドラマの会話も、ゆっくり聞き取りやすいから、うれしい。

言葉の速度を調節して、会話を聞きやすくします。自然でゆっくりと聞こえる感覚が得られます。

## アクトビラ → 33ページ

テレビで楽しむインターネット。

「アクトビラ」を使えば、誰でも簡単に、安心のインターネットを楽しめます。

## DLNA対応 → 34ページ

つながる、広がる。

DLNA (Digital Living Network Alliance) は、家庭内LAN(ホームネットワーク)を用いてAV機器やパソコン、情報家電を相互に接続し、連携して利用するための技術です。DLNAのDMSに対応したパソコンやHDDレコーダーのデータを、本機で楽しむことができます。

- 4 「お助けガイド」を使おう
- 7 「リモコンガイド」を使おう
- 8 安全上のご注意
- 14 準備
- 16 接続する
- 24 テレビ放送を見るための設定

は  
め  
じ  
る

## 26 基本の操作

### 28 便利な機能

- 30 番組表で番組を探す
- 32 ホームメニューで情報を確認する
- 33 インターネットを楽しむ — アクトビラ
- 34 DLNA機器のデータを再生する
- 35 SDカードの画像を見る
- 36 接続一覧

### 37 メニュー操作

楽  
し  
む

## 44 故障かな？と思ったら

- 50 こんなメッセージが出たら
- 51 お助けガイドの項目一覧
- 54 主な仕様
- 56 保証とアフターサービス
- 59 索引

知  
る

# 「お助けガイド」を使おう

「お助けガイド」は、あなたのテレビ操作をお手伝いする機能です。

## 知りたいことを探す

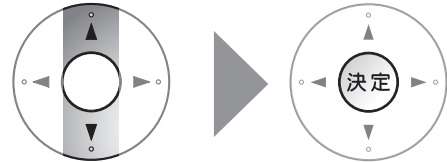
1 ホームメニュー  
○ を押す

ホームメニューが開きます。



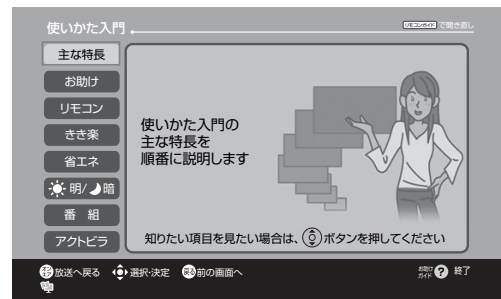
2 調べかたを選ぶ

▲▼ボタンで項目を選び、決定ボタンを押します。



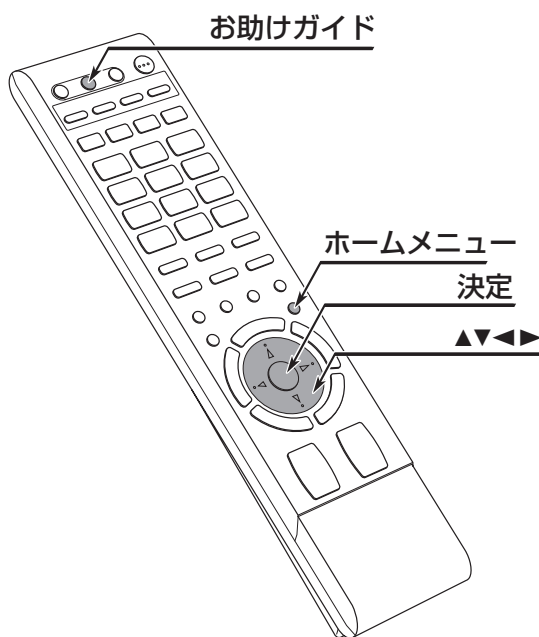
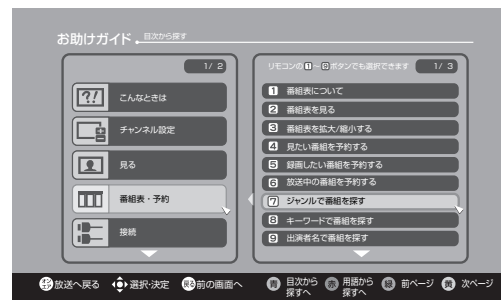
### 使いかた入門

このテレビの便利な機能を音声と画像でご紹介します。



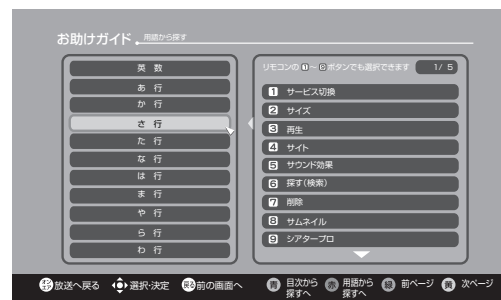
### 目次から探す

内容別の目次から、知りたい項目を選んで説明を読むことができます。



### 用語から探す

あいうえお順の目次から、知りたい用語を選んで説明を読むことができます。

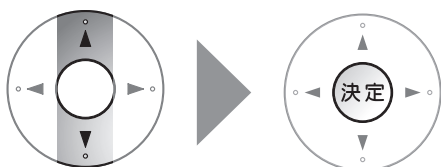


- ・ 知りたい項目を探して解説を読むことができます。
- ・ 解説ページから実際の操作画面へ移動することができます。
- ・ 操作中にわからないことがあったら、ボタンひとつで解説ページを開くことができます。

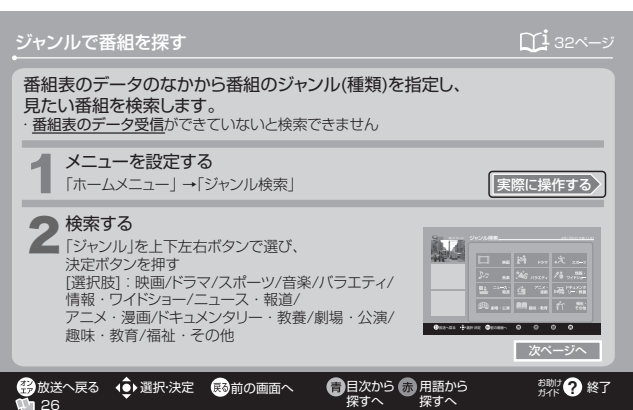
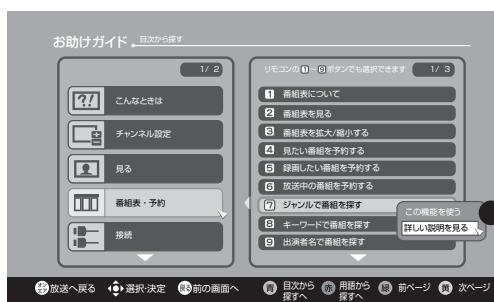
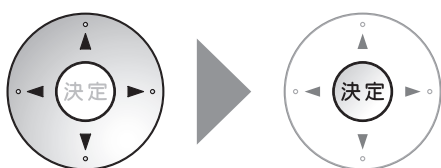
### 3 説明を読みたい項目を選ぶ

### 4 解説ページが開きます

▲▼ボタンと決定ボタンで項目を選びます。「詳しい説明を見る」という項目が出たら、画面の説明に従って青ボタンまたは赤ボタンを押します。



▲▼◀▶ボタンと決定ボタンで項目を選びます。「詳しい説明を見る」を選んで決定ボタンを押します。



解説ページでの操作→次ページ

やりたいことを探して直接操作画面へ！  
「この機能を使う」を選ぶと、実際の操作画面に移動することができます。

## 操作の途中で解説を読む

操作中、「この機能はどう使うんだろう?」と思ったら…

お助けガイド



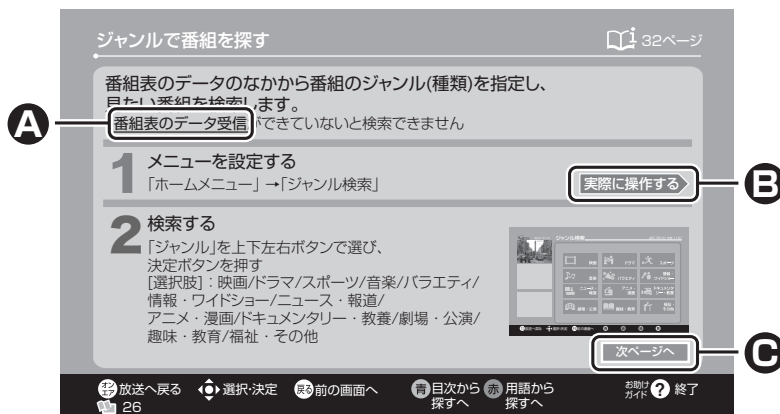
を押す



操作中の機能に対応した解説ページが開きます。

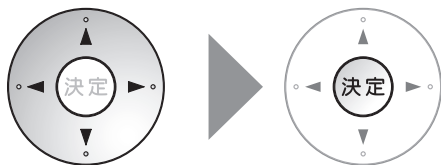
- ・ テレビ放送や外部入力映像を見ているときは、「目次から探す」のページが開きます。

## 解説ページの見かた



▲▼◀▶ ボタンで項目を選び、決定ボタンを押します。

- ・ 選択されている項目にはオレンジ色の枠が付きます。



### リンクをたどる — A

青色の下線のついた項目を選ぶ

### 実際の操作画面に移動する — B

「実際に操作する」を選ぶ

実際に操作する

### 次のページを見る — C

「次のページへ」を選ぶ

次のページへ

### 用語の解説を見る

灰色の背景のついた用語を選ぶ

- ・ 選んだ用語の解説が表示されます。

### 前のページに戻る



を押す

### 「目次から探す」に戻る

青

●<sub>-12H</sub>を押す

### 「用語から探す」に戻る

赤

●<sub>+12H</sub>を押す

### 解説を閉じてテレビ放送に戻る



を押す

### 解説を閉じて接続した機器の映像に戻る



をくり返し押す

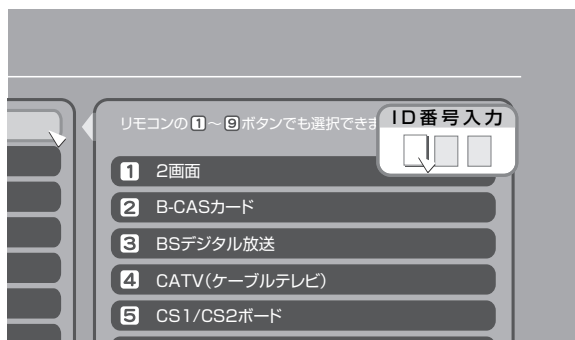
## 解説ページを直接開く

本文中のアイコン **000** は、お助けガイドの解説ページの番号を表しています。この番号を入力すると、知りたい項目の解説ページを直接開くことができます。

- お助けガイドの項目とページ番号は巻末にも記載されています。  
→ 51ページ「お助けガイドの項目一覧」

### 1 「目次から探す」または「用語から探す」の画面で **000** を押す

画面右上に番号入力欄が表示されます。

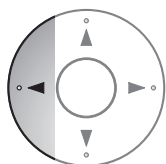


### 2 3ケタの番号を入力する



- 「0」は10ボタンで入力します。

### 入力をまちがえたら



を押す

ひとつ前の位に戻ります。

例

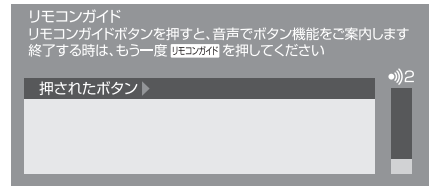
**045** の解説ページを開くには



## 「リモコンガイド」を使おう

リモコンボタンの操作・機能をテレビからの音声でご案内します。

### 1 リモコンガイド **000** を押す

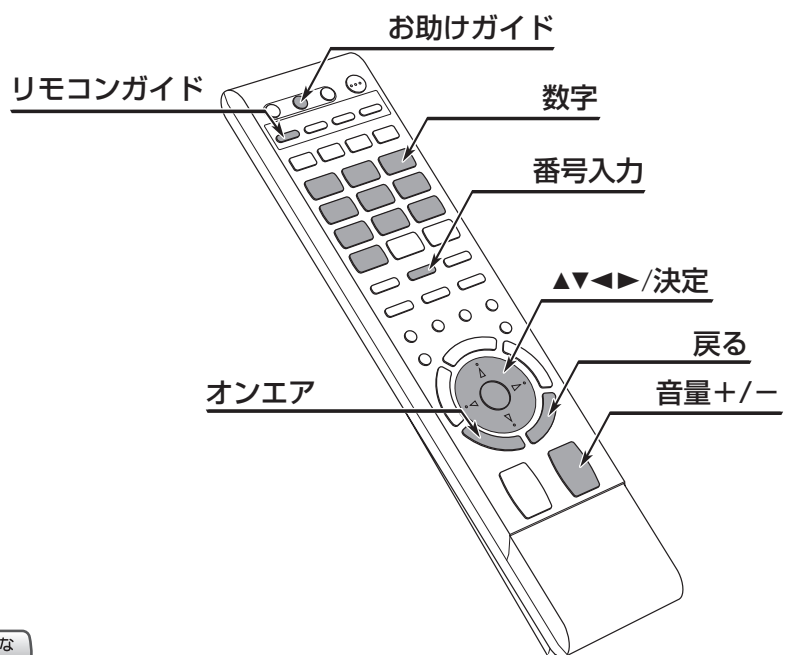


### 2 説明を聞きたいボタンを押す

押されたボタンの説明が画面に表示され、解説が音声で流れます。

リモコンガイドの音量を調節するには  
音量+/-ボタンを押して音量を10段階で調節します。

リモコンガイドを終了するには  
リモコンガイドボタンをもう一度押します。  
画面表示が消え、もとの音量に戻ります。



# 安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

**警告** 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

**注意** 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

## 注意、警告が必要なこと



## 禁止されていること

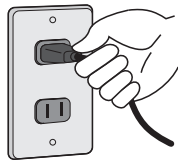


## 実行して欲しいこと



## 警告 設置・使用

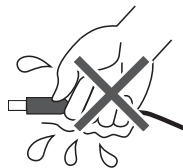
電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む



電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントには接続しない



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない



電源プラグはコードの部分を持って抜かない



表示された電源電圧（交流100V）以外で使用しない

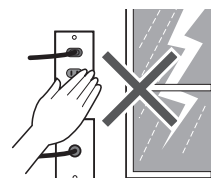


電源コードを傷つけない

- 電源コードを加工しない
- 無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない





この機器の上に水の入ったものを置かない



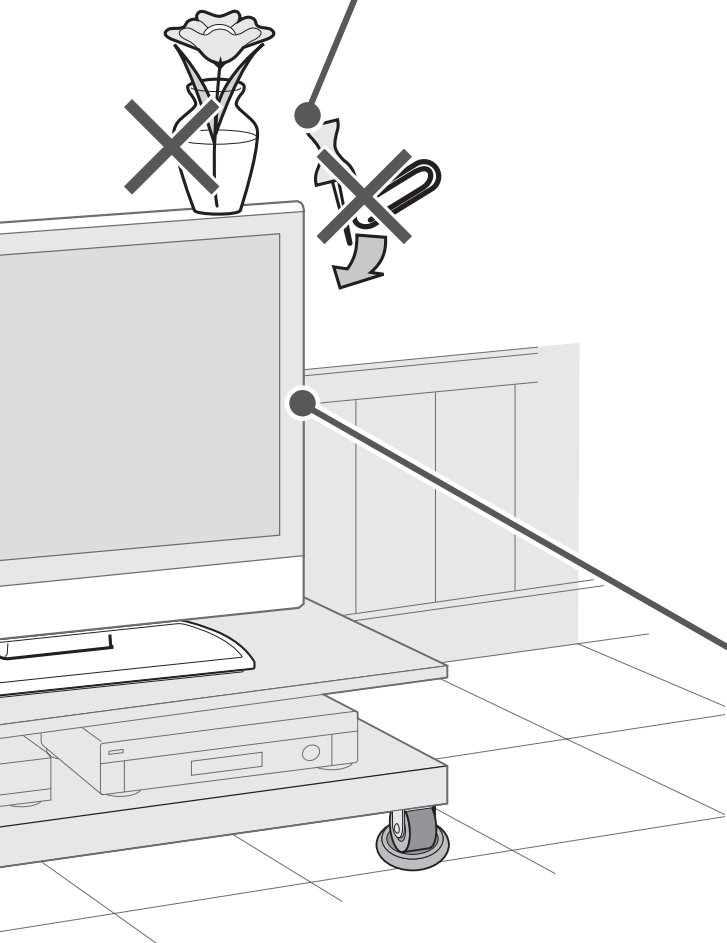
禁止

内部に物を入れない

感電を起こすことがあります。特にお子様には十分注意してください。



禁止



この機器の裏ぶた、カバー、キャビネットは外したり改造しない



分解禁止

不安定な場所に置かない



禁止

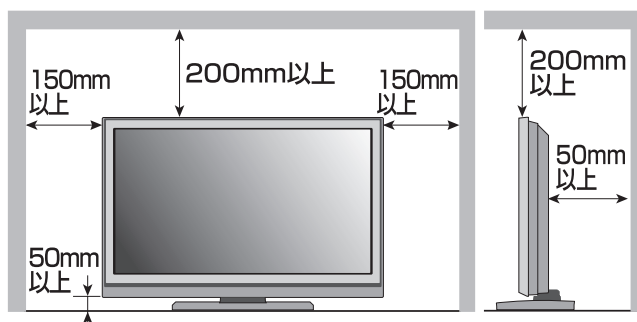
壁や他の機器と間隔をあけて設置する

放熱をよくするため、周囲との間に下図の空間距離を保つようにしてください。

本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため下図の空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。



一般的注意



通風孔をふさがない

- ・押し入れ、本箱などの上に置かない
- ・じゅうたんや布団などの上に置かない
- ・テーブルクロスなどを掛けない
- ・横倒し、逆さまにしない



禁止

風呂場などの水のある場所で使わない



水場での使用禁止

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける

本機は、電源プラグの抜き差しで、主電源が入り/切りします。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。



一般的注意

## 万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする。
- 画面が映らない、音が出ない。
- 内部に水や物が入ったとき。
- 落下などにより破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき。

電源スイッチを切る。  
電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。

# ⚠️ 注意 設置・使用

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

移動するときは電源プラグや接続コード類を外す



プラグをコンセントから抜く

すべてのランプが消えていても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると、本機には電力が供給されています。完全に電源を切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

長時間、音が歪んだ状態で使わない



禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



一般的注意

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない



禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様の手の届くところに置かない



禁止

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

テレビは重いので、必ず2人以上で持つ



一般的注意

電源コード、接続ケーブルは引っかからないように本体後面で束ね、壁、床などのすみに配置する



一般的注意

この機器の上に乗らない、ぶら下がる



禁止

この機器の上に重い物を置かない



禁止

キャスター付きテレビ台に乗せるときは、キャスターを固定する  
キャスターにストッパー機能があるときは、必ずストッパーをロックしてください。



一般的注意

健康のため、1時間ごとに10分～15分の休憩をとり、目を休めてください



一般的注意

1年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください



一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください

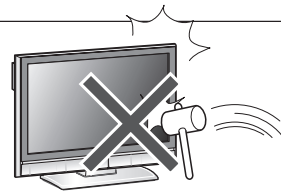


一般的注意

## 液晶画面に衝撃を与えない

(物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない)

液晶画面のパネルが割れて、けがの原因となることがあります。



## 本体パネルの下部を持って前後に傾けない

本体パネル部分の下側中央部を持たないでください。指が挟まれて、けがの原因となることがあります。また、無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。



ケガに注意



手を挟まれないように注意

## 次のような場所に置かない

- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- ・ 熱器具の近くなど
- ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ



禁止

## お手入れのしかた

### 画面のよごれは

画面には反射防止のための表面コーティングなど、特殊な薄膜層が形成されています。この薄膜層がダメージを受けると「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので次のことに注意してください。

- ・ 画面にのりやテープなどを貼らない
- ・ 画面にペンなどで書き込みをしない
- ・ 画面を硬いものにぶつけない
- ・ 画面を結露させない
- ・ 画面をアルコールなどの溶剤などでふかない
- ・ 画面を強くこすらない

画面のよごれを取り除く場合には、柔らかい布またはクリーニングクロスを使ってからぶき・かたく絞った水ぶき・薄めた中性洗剤でかたく絞った水ぶきを行なってください。

### キャビネットのよごれは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく

絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- ・ シンナーやベンジンでふかない
- ・ 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ・ ゴムやビニール製品など長時間接触させたままにしない

### スタンド・フレームのよごれは

光沢仕上げ面が汚れたときは、ほこりを払ってから光沢面を柔らかい布(綿・ネルなど)で拭いてください。

- ・ 光沢面に指の跡などがついた場合も、この方法できれいにすることができます。
- ・ 最初に光沢面のほこりを払ってください。ほこりが残っている状態で布拭きすると、光沢面が傷つくことがあります。

### 通気孔に付着したほこりは

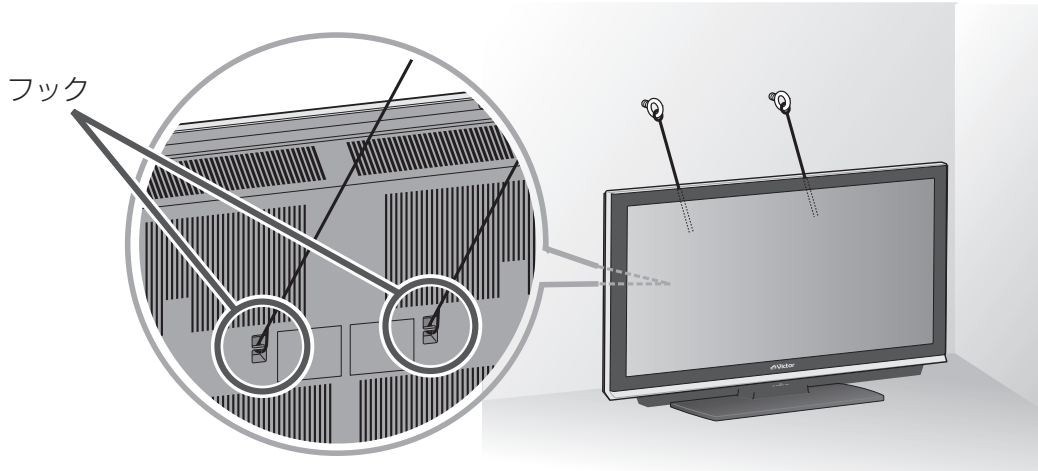
本体後面に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

## **注意** 設置・使用

地震等での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止の処置をしてください。

### 壁または柱などに固定するとき

本体後面のフックに、市販の丈夫なひもなどを結び、壁面や柱など堅牢部に固定してください。

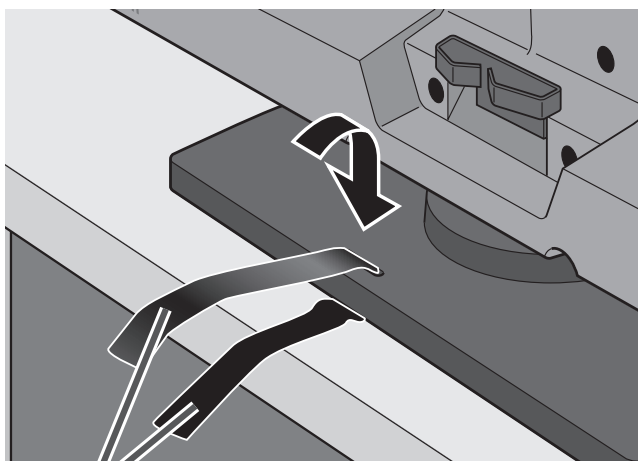


### 壁にかけるとき

本機を壁にかけて使用するときは、必ず専用の角度調節可能ウォールマウントユニット(別売)をご使用ください。壁掛けユニットの据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または販売店に、ご依頼ください。

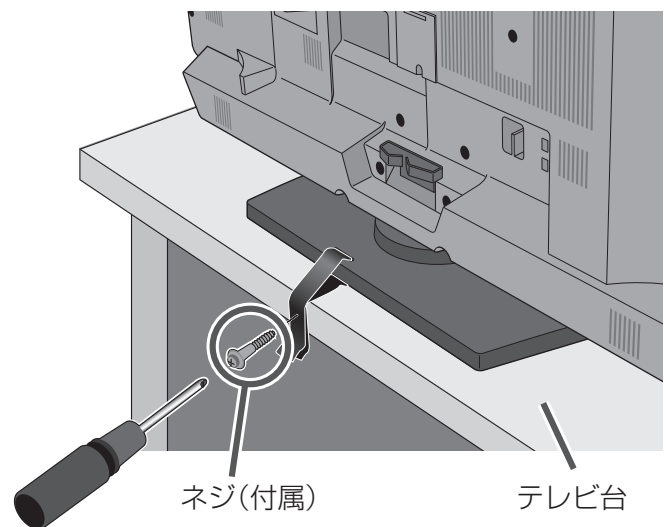
### テレビ台に固定するとき

**1** 本体スタンド後面にあるバンド用の穴に固定用バンド(付属)を通す



固定用バンド(付属)

**2** 固定用バンドの長さをそろえ、プラスドライバーを使ってネジ(付属)でテレビ台などに固定する



ネジ(付属)

テレビ台

※説明図は実際の外観と異なることがあります。

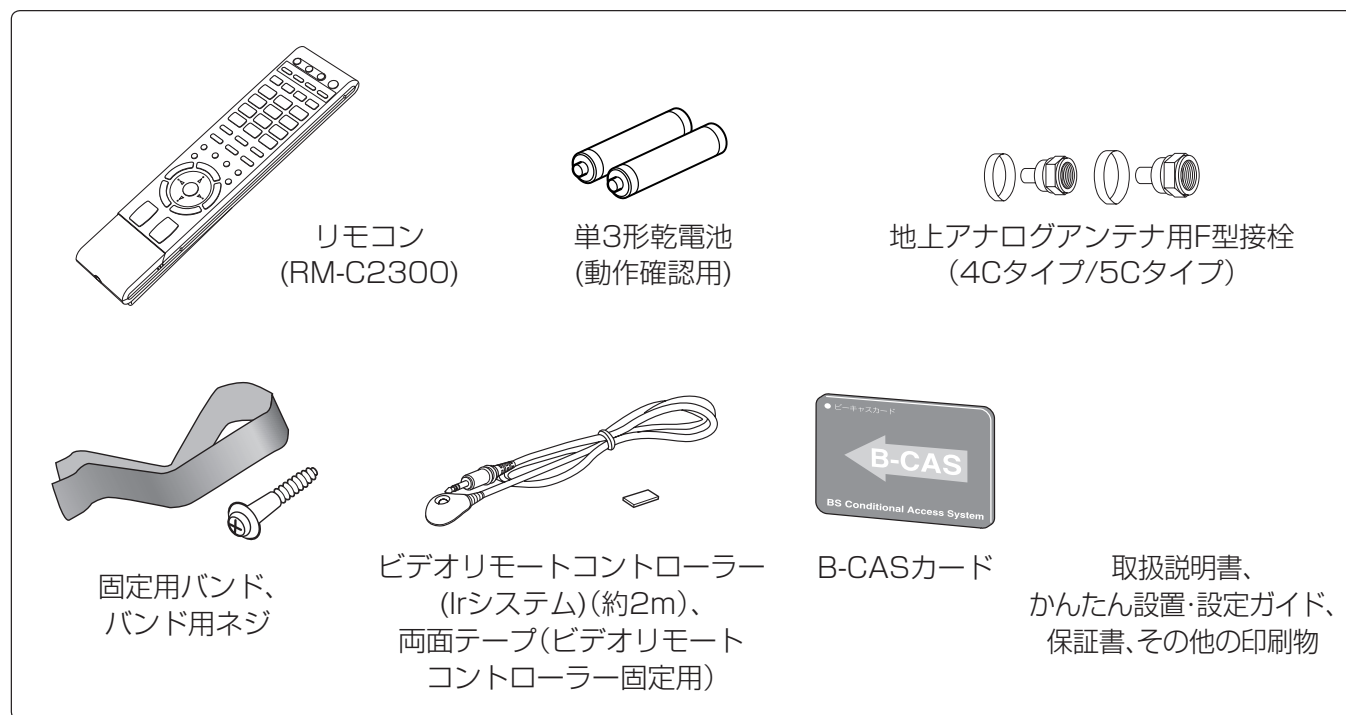
# はじめ

- 14 準備
- 16 アンテナの接続
- 18 外部機器の接続
- 22 ネットワークの接続
- 23 B-CASカードを入れる
- 23 電源コードをつなぐ
- 24 テレビ放送を見るための設定

# 準備

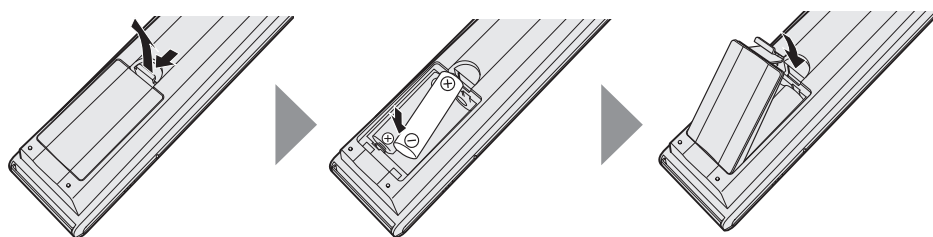
## 付属品

不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口までご連絡ください。  
(→ 56.57ページ)

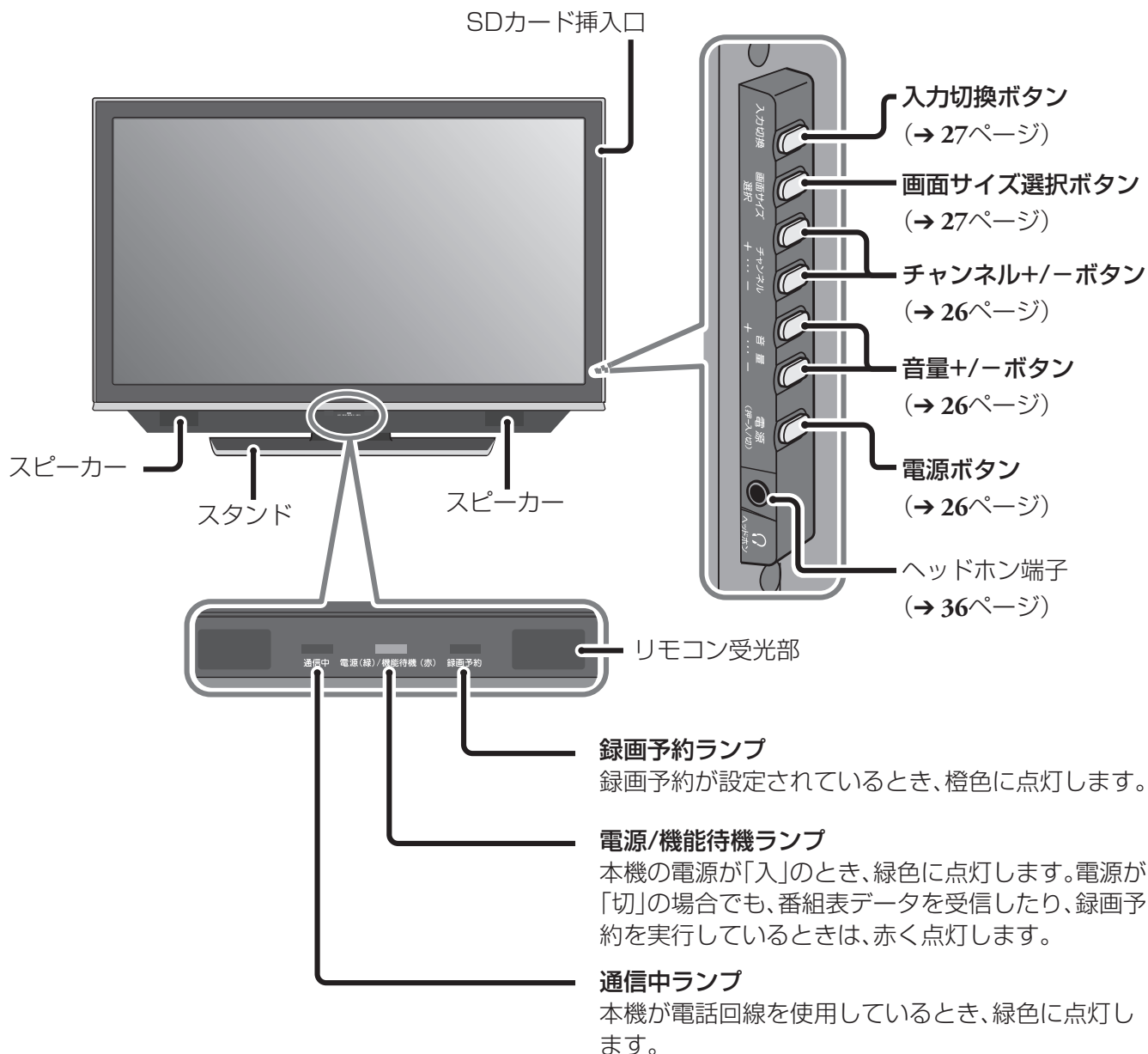


## リモコンに電池を入れる

ショートを防ぐため、必ず電池の⊖(マイナス)側を先に入れてください。



- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 電池は普通の使いかたで、約6か月から1年使えます。
- 付属の電池は動作確認用です。



**画面の角度を調節するときは**

左右それぞれに20度以内で調節できます。スタンドと本体パネルの側面をしっかりと押さえながら、ゆっくりと傾けてください。



**設置**

8～12ページをよくお読みのうえ、正しく設置してください。

# 接続する

## アンテナの接続

260

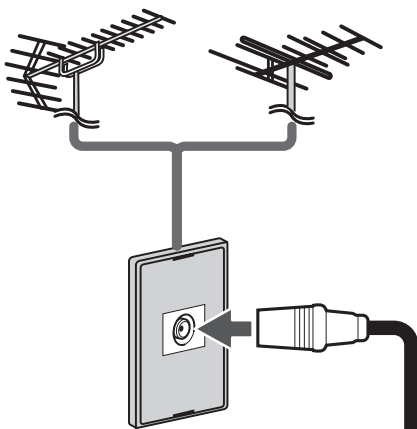
別紙の「かんたん設置・設定ガイド」もご覧ください。

テレビ放送を見るために必要な接続です。

ご覧になりたい放送に応じてアンテナを接続してください。

### 地上アナログ放送

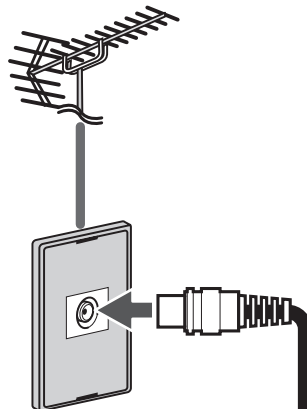
UHFアンテナ VHFアンテナ



75Ω同軸ケーブル

### 地上デジタル放送

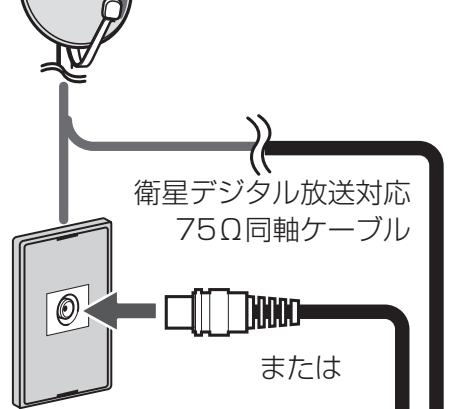
地上デジタル放送対応  
UHFアンテナ



地上デジタル放送対応  
75Ω同軸ケーブル

### 衛星デジタル放送

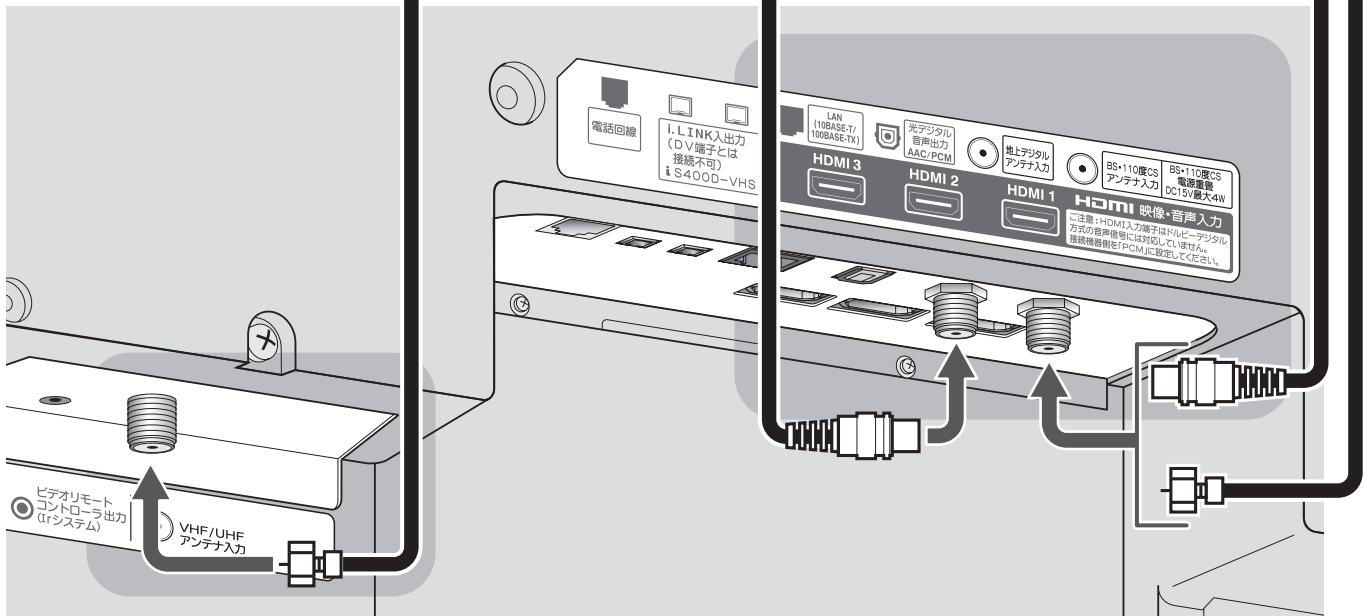
衛星デジタル放送  
対応アンテナ



衛星デジタル放送対応  
75Ω同軸ケーブル

または

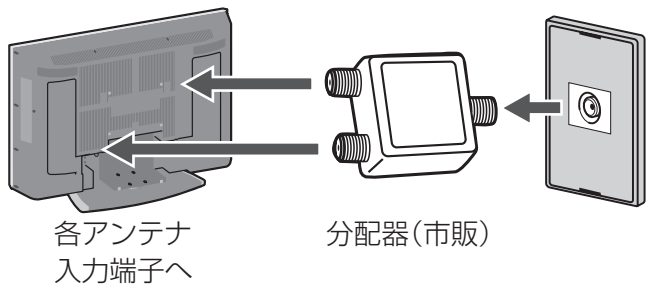
衛星デジタル放送対応  
75Ω同軸ケーブル



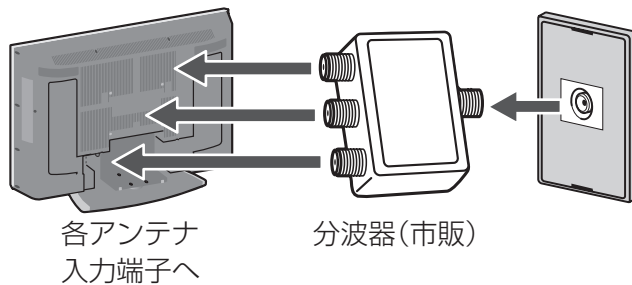


## 集合アンテナで放送が混合されているとき

- 地上アナログ放送(VHFとUHF)と地上デジタル放送のアンテナが混合されているとき

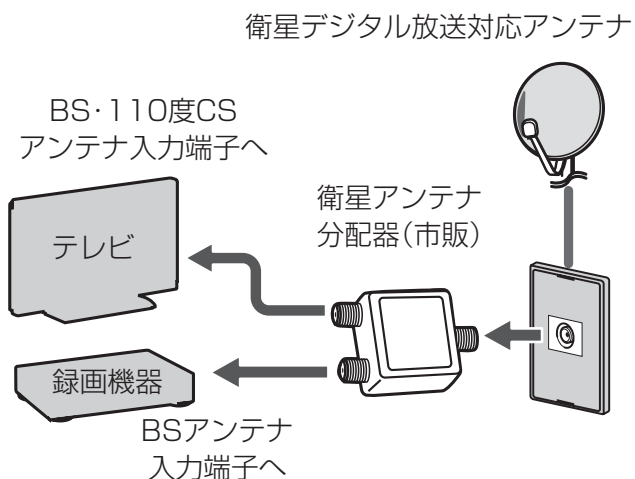


- すべての放送のアンテナが混合されているとき

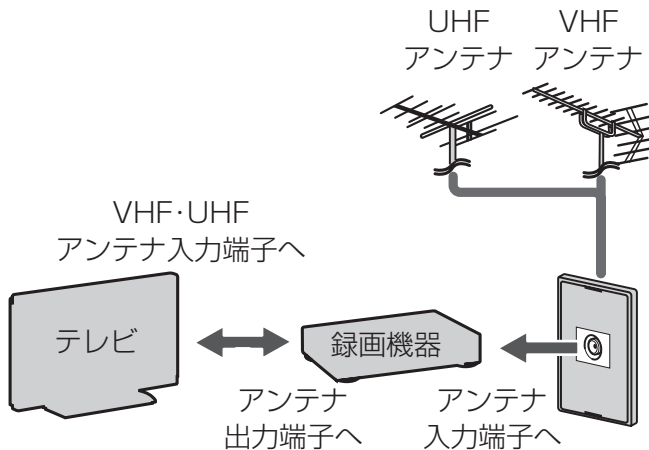


## チューナー内蔵の録画機器を接続するとき

- BSアナログチューナー内蔵の録画機器をつなぐときは



- 地上アナログチューナー内蔵の録画機器をつなぐときは



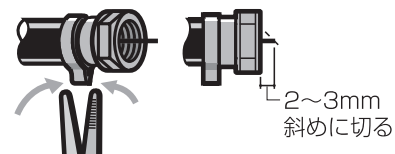
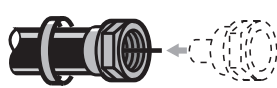
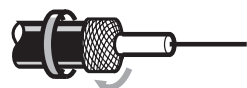
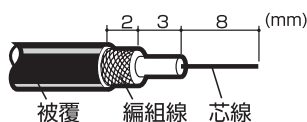
### F型接栓(付属)のつなぎかた(地上アナログアンテナ用)

2種類のF型接栓(4C、5C)を付属しています。お使いのときはケーブルの太さに合わせたタイプをご使用ください。



- ・ 平行フィーダー線は妨害を受けやすくなるので、使わないでください。またアンテナ線の接続には、付属のF型接栓をお使いください。
- ・ 芯線と編組線が接触しないようにしてください。
- ・ ケーブルの先端を処理するときは、芯線に傷をつけないようにしてください。
- ・ リングは、必ず被覆の上で締めてください。

- 1 ケーブルを加工する
- 2 リングをとおす
- 3 コネクターを差し込む
- 4 リングをペンチで締める



# 外部機器の接続

## 録画のための接続

159

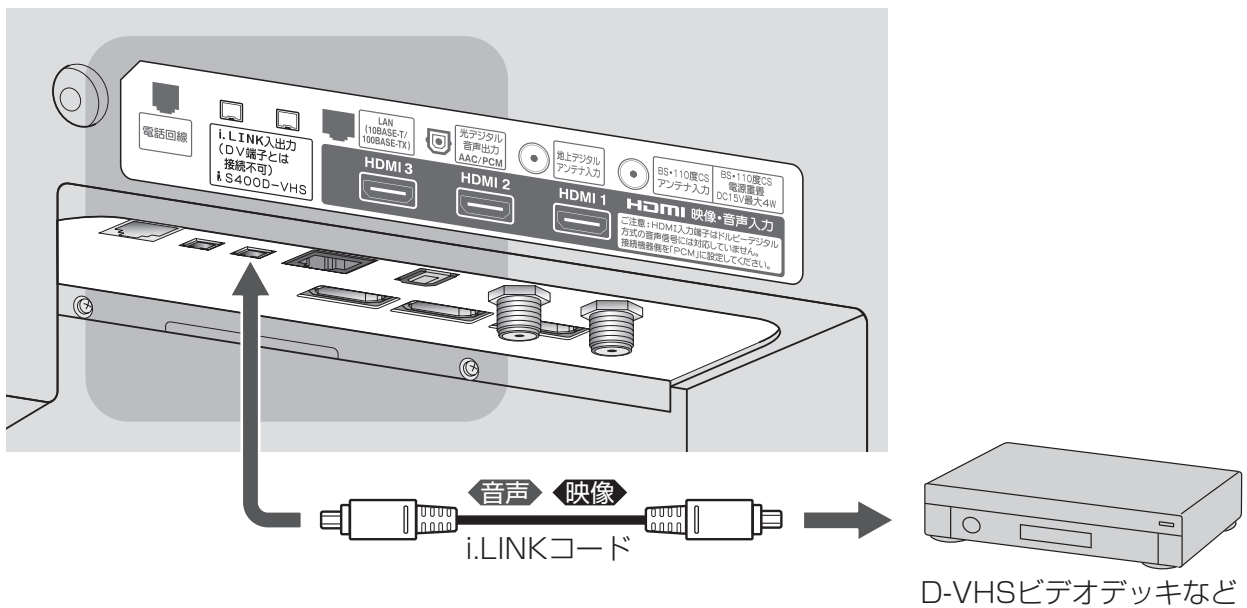
テレビで受信した映像と音声を録画機器に送るための接続です。

### マクロヴィジョン

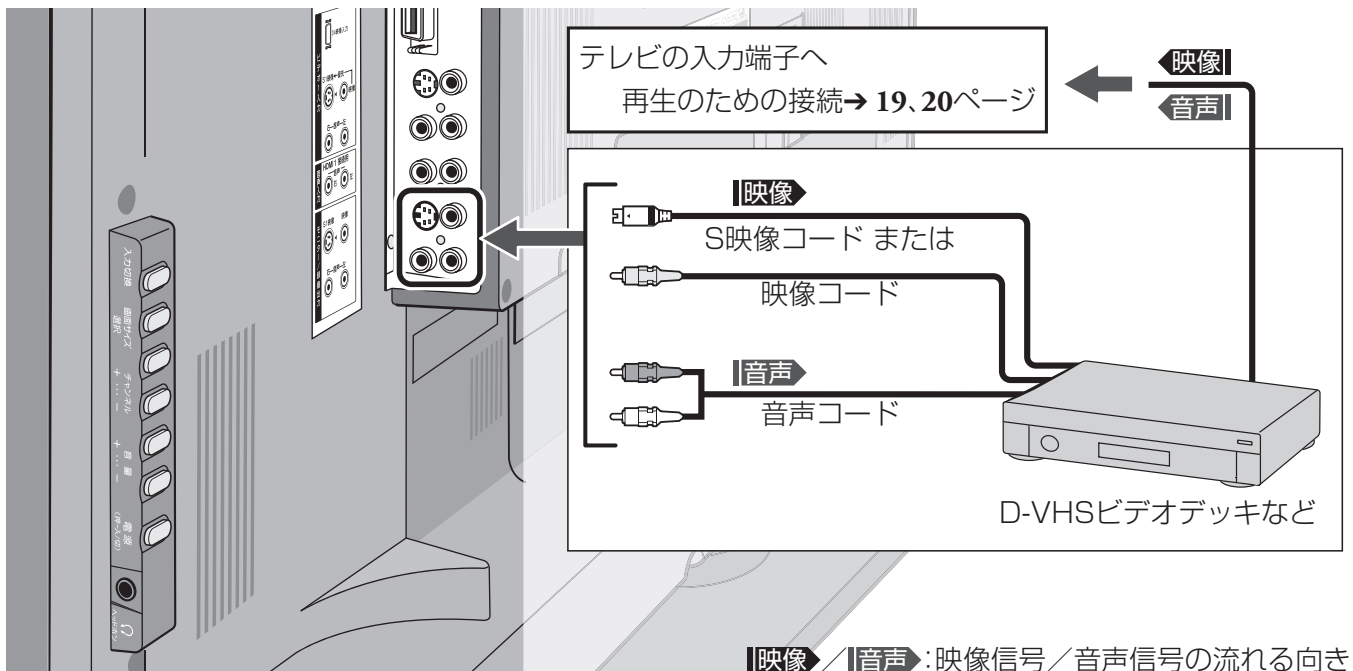
著作権保護された番組をビデオなどで録画する場合、著作権保護のための機能が働いて、正常に録画できません。また、著作権保護された番組をビデオデッキを介して本機以外のTVモニターなどに接続して見た場合、映像が乱れることがあります。

### 録画機器にi.LINK端子がある場合

i.LINKで接続すると、ケーブル一本でデジタル放送をデジタル録画・デジタル再生できます。また本機から、当社製のD-VHSビデオデッキなどを操作できます。



### 録画機器にi.LINK端子がない場合

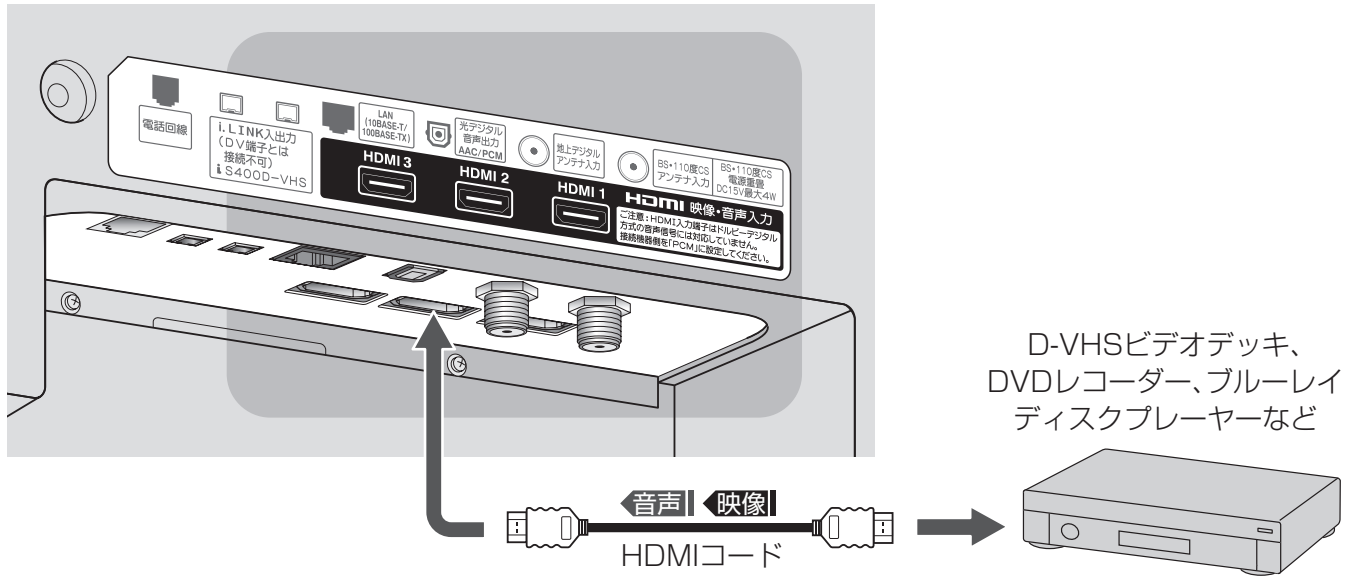


接続した機器の映像と音声をテレビで楽しむための接続です。

### HDMI端子がある場合

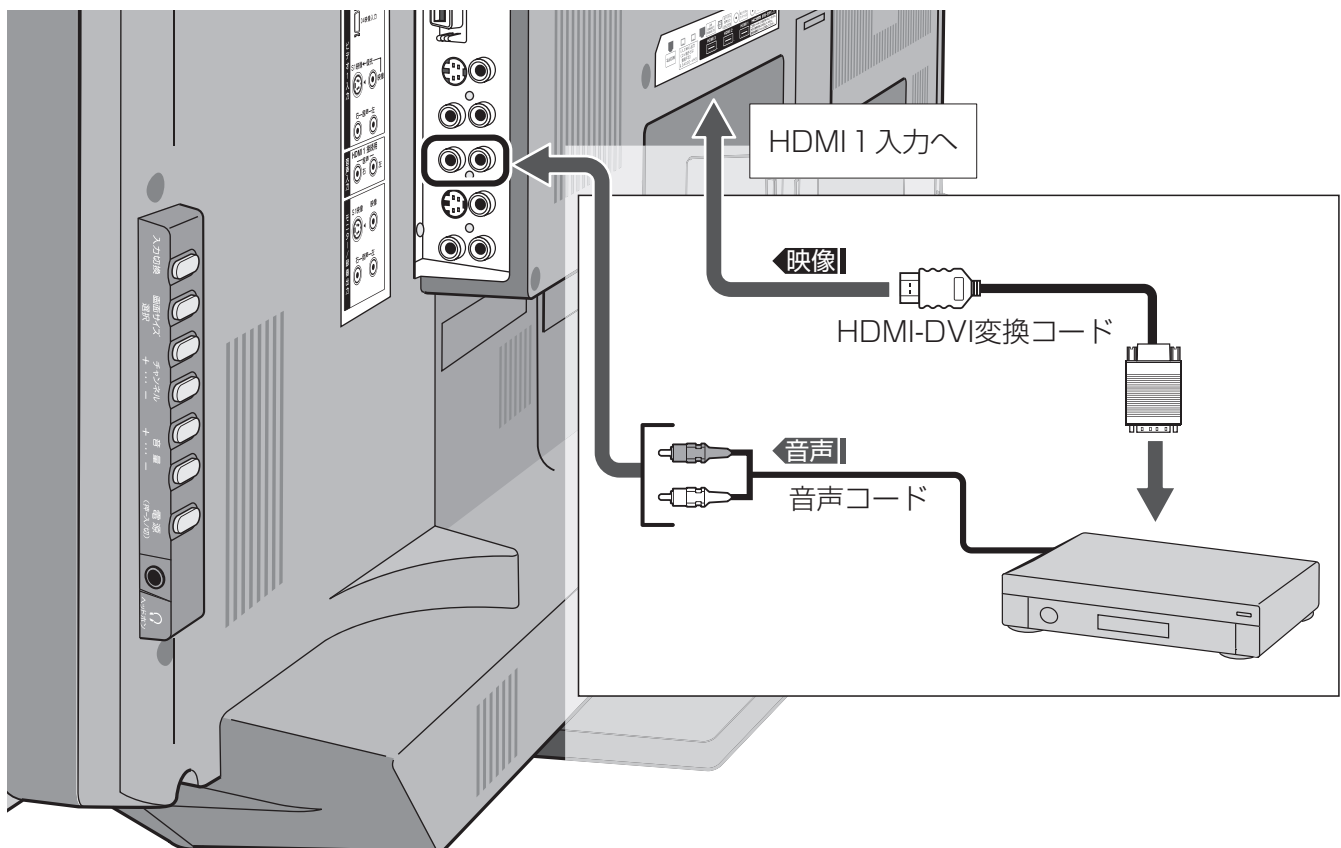
HDMIコード1本で映像と音声を再生できます。

- ・本機はHDMI CECに対応しています。→ 49ページ



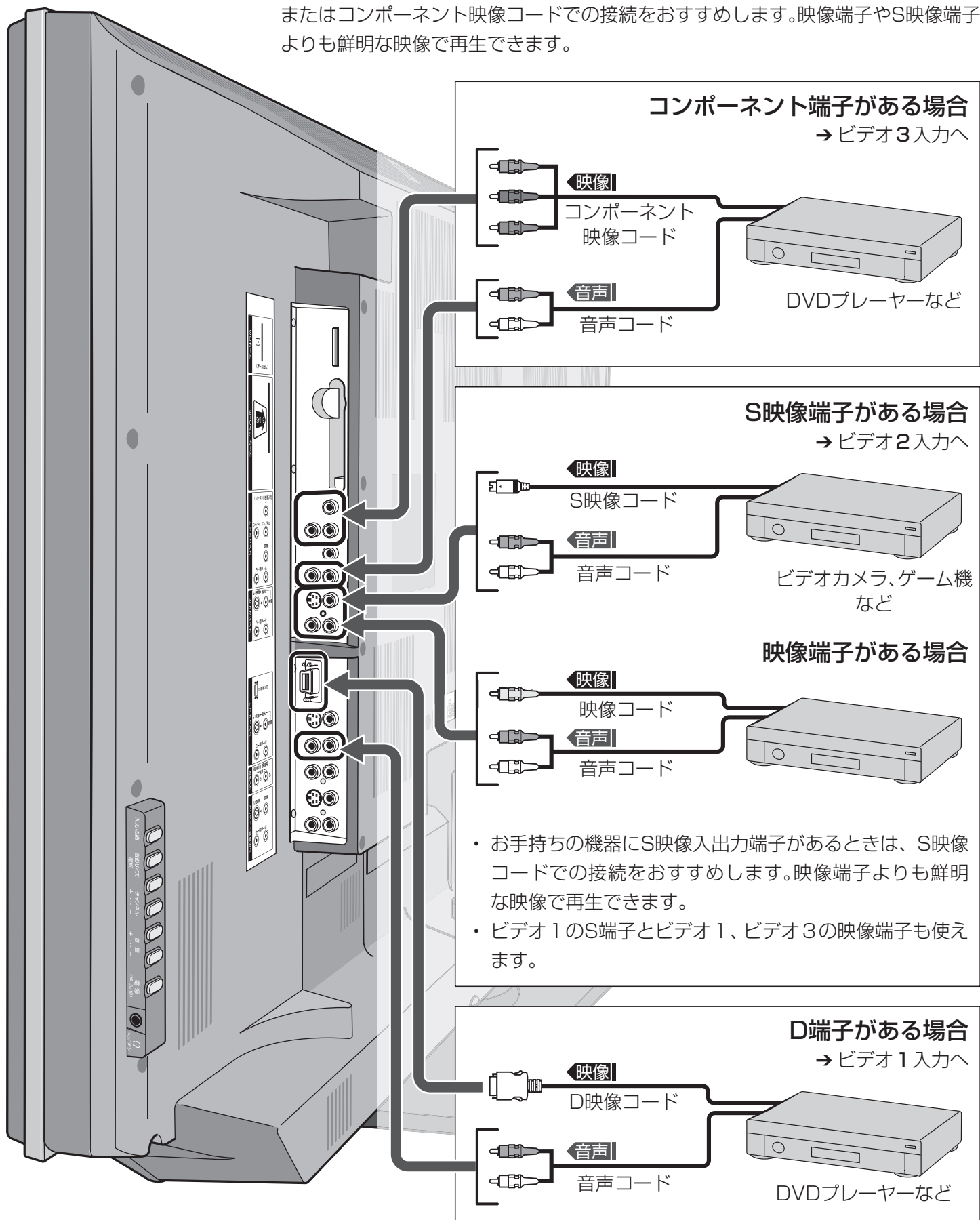
### DVI端子がある場合

HDMI-DVI変換コードをお使いください。



## 再生のための接続(続き)

- ・ お手持ちの機器にD映像出力やコンポーネント映像出力があるときは、D映像コードまたはコンポーネント映像コードでの接続をおすすめします。映像端子やS映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。

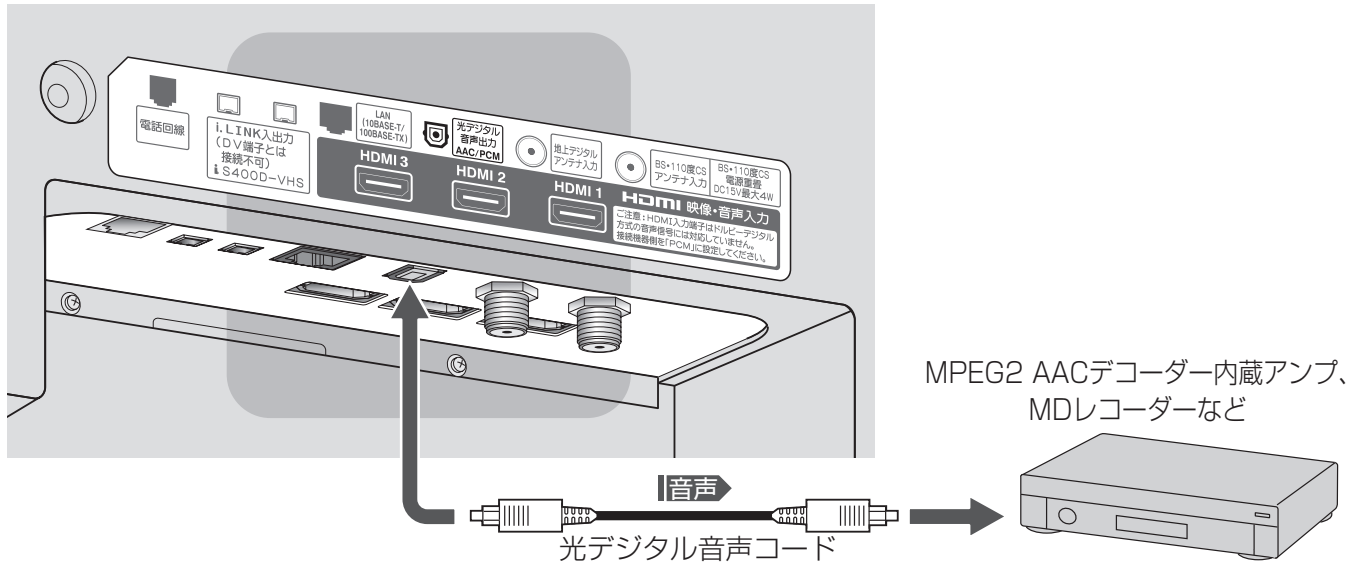


映像 / 音声 : 映像信号 / 音声信号の流れる向き

## 音声を出力する

164

MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプに接続して、マルチチャンネル音声の番組を楽しめます。また、MDレコーダーなどに接続して、デジタル音声をデジタルのまま録音することもできます。→ 42ページ「光デジタル音声出力の設定」



はじめ

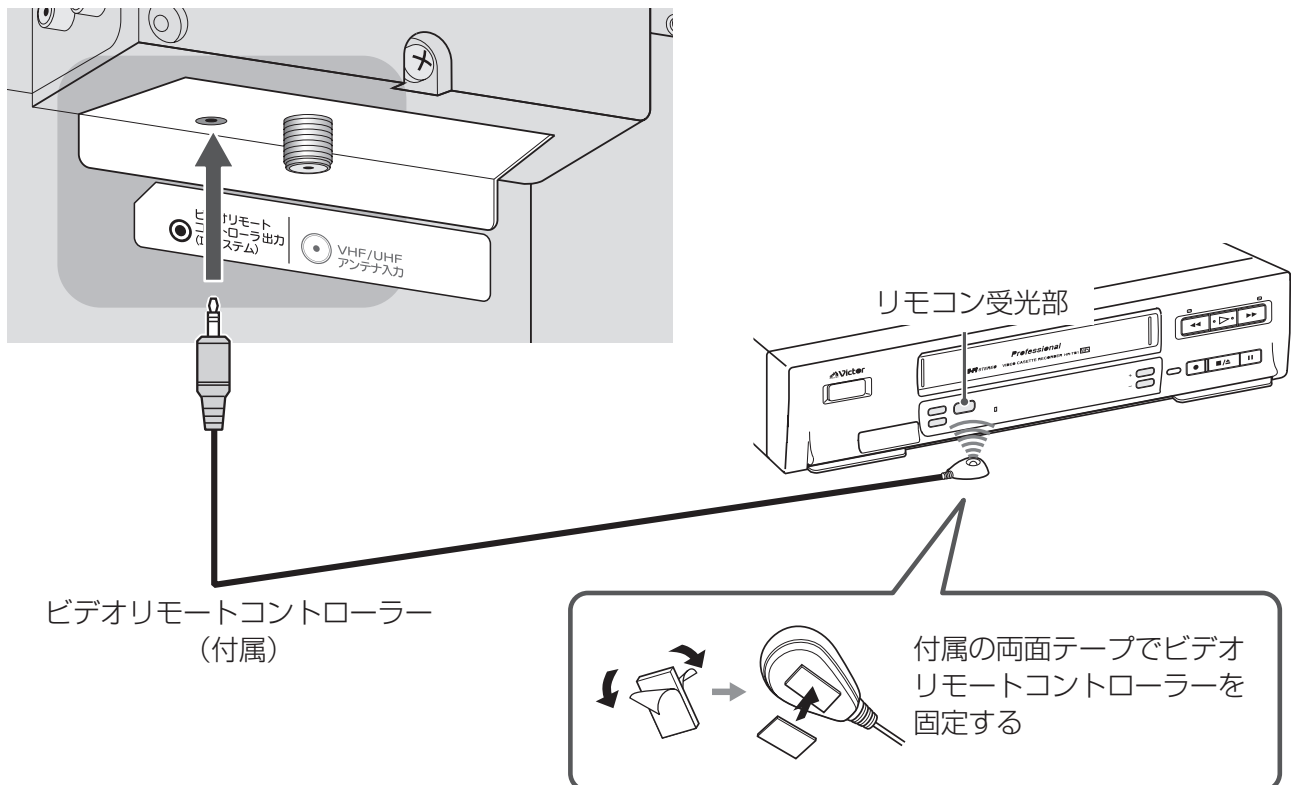
接続する

## ビデオリモートコントローラーをつなぐ

212

ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を本機に接続すると、本機とビデオデッキなどの録画機器を連係させて録画予約をすることができます。

録画・再生のための接続(→ 18~20ページ)をしたうえで、ビデオリモートコントローラーを接続してください。接続後、設定が必要です。→ 41ページ「接続録画機器の設定」



## 電話線

電話線を接続すると、デジタル放送の有料番組を購入したり、クイズやアンケートへの回答、ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加できます。

## インターネット(アクトビラ)

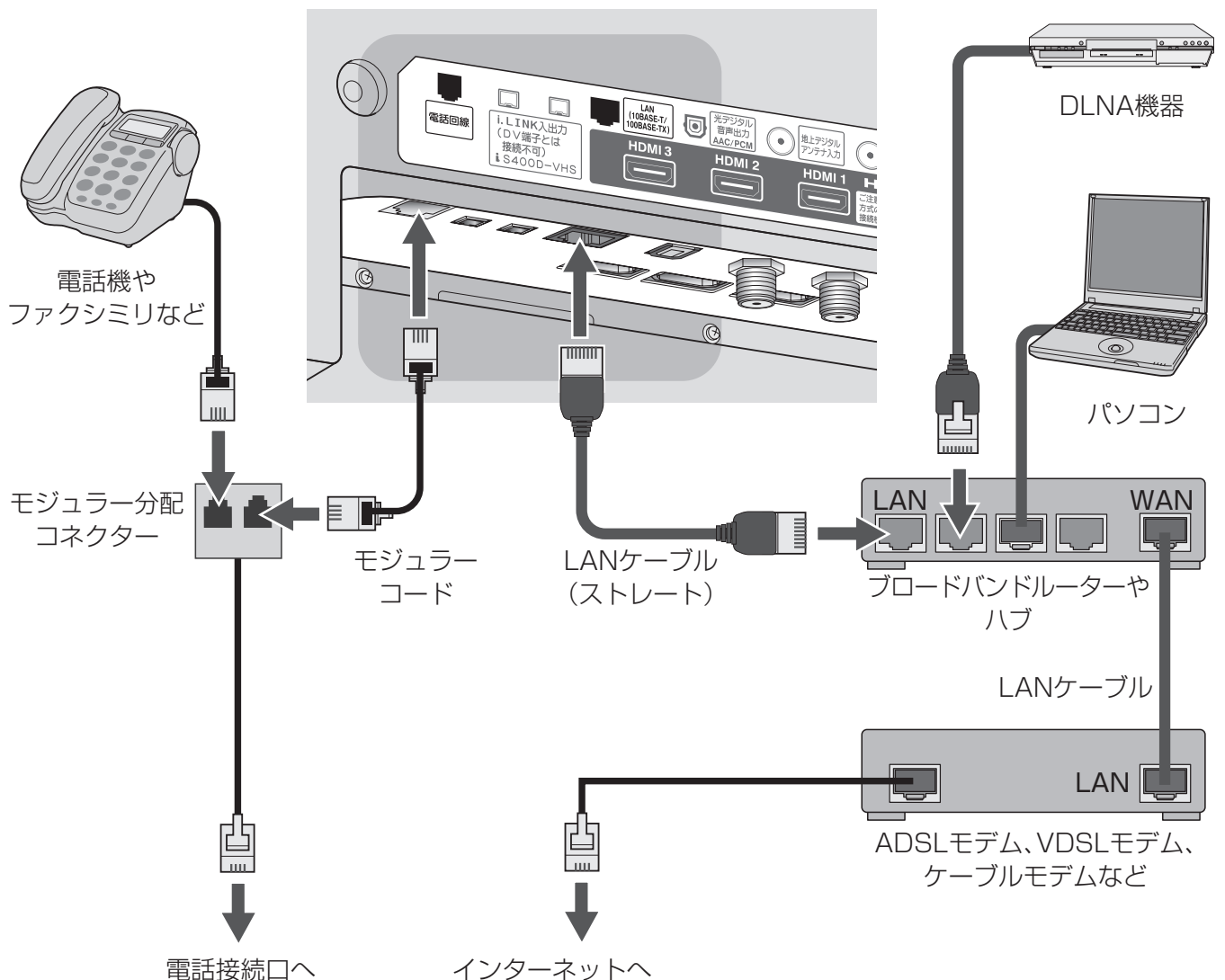
本機をブロードバンドに接続すると、アクトビラを通じてテレビの画面でインターネットが楽しめます。

→ 33ページ

## DLNA

本機はDLNAに対応しています。ご家庭のネットワークに本機を接続することで、ネットワーク上のDLNA DMS対応機器のデータを楽しめます。→ 34ページ

下の接続図は一例です。ご家庭のネットワーク環境に応じて変更してください。



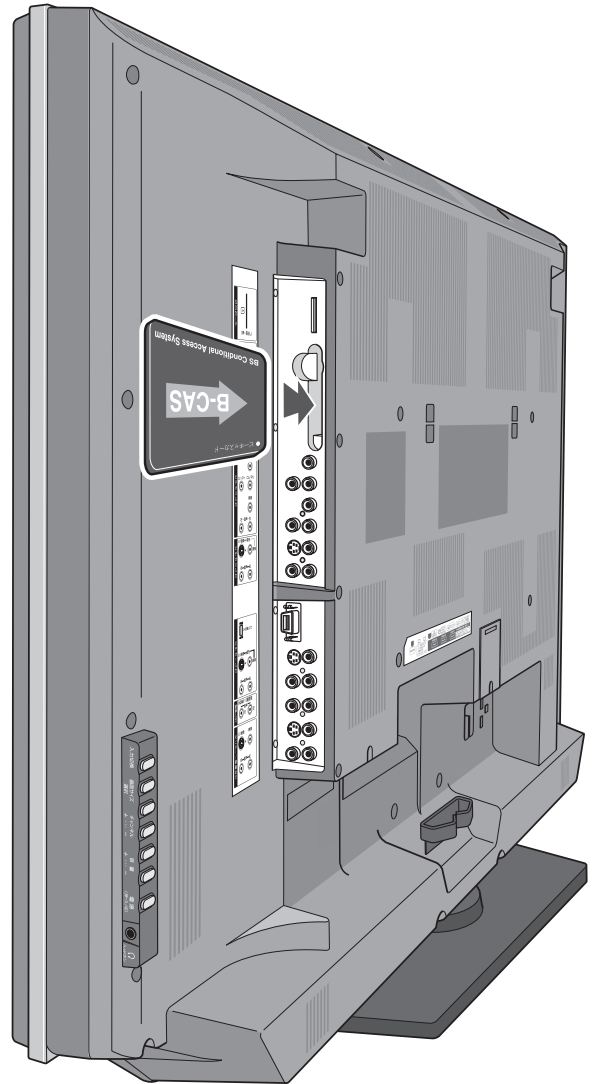
- ・ ADSL回線のときはスプリッターを経由して電話接続口へ
- ・ 光ファイバー回線(マンションタイプ)のときはインターネット網へ
- ・ ケーブルテレビ回線のときは、インターネット用の同軸ケーブル配線についてご契約のケーブルテレビ運営会社にご確認ください。

## B-CASカードを入れる

デジタル放送を楽しむにはB-CASカードが必要です。B-CASカードが本機に挿入されていないと、デジタル放送を受信できません。B-CASカードを本機に挿入したままでご使用ください。

B-CASカードはこの製品に同梱されています。

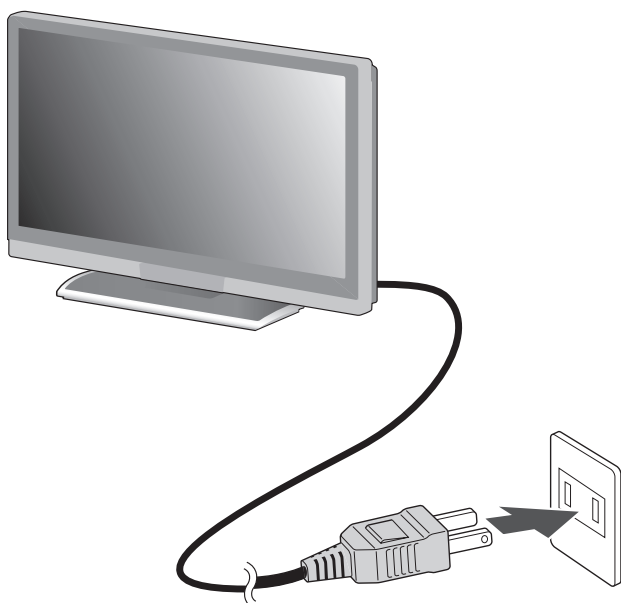
- ・ ご使用になる前に台紙裏面の使用許諾契約約款をよくお読みください。
- ・ B-CASカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されたものです。破損・紛失などにより再発行を依頼される場合は再発行費用がかかります。B-CASカード（またはB-CASカードの台紙）に記載されたカスタマーセンターまでご連絡ください。



はじめ

接続する

## 電源コードをつなぐ



電源を入れると「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。

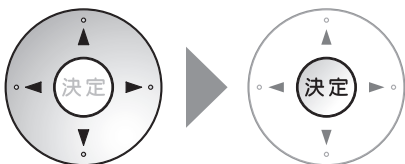
→ 次ページ



# テレビ放送を 見るための設定

## お買い上げ設定ウィザード

初めて電源を入れると、「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。テレビ放送を見るために必要な設定を行いますので、画面の指示と音声案内に従って進めてください。



- ・ 戻るボタンを押すとひとつ前の画面に戻れます。
- ・ 「簡単設定ウィザード」で同様の項目を設定できます。  
→ 37ページ

### ■ 地域設定

お住まいの地域を選びます。地上アナログ放送のチャンネルがこの設定に合わせて登録されます。



### ■ チャンネルスキャン(地上デジタル)

受信可能な地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探して登録します。



### ■ アンテナの設定

衛星アンテナに電源を供給するかどうか設定します。



### ■ 郵便番号の設定

お住まいの地域の郵便番号を入力します。お住まいの地域に応じたデータ放送(天気予報など)を受信できるようになります。



### ■ 電話のテスト

電話回線が正しく通信できるかどうか確認します。

これで設定は終わりです。テレビ放送をお楽しみください。

## うまく映らないときは

### まったく映らない！

- ・ アンテナは正しくつながっていますか？
- ・ 放送に対応したアンテナやケーブル、分配器・分波器を使っていますか？
- ・ B-CASカードは入れましたか？→ 23ページ

### きれいに映らない！

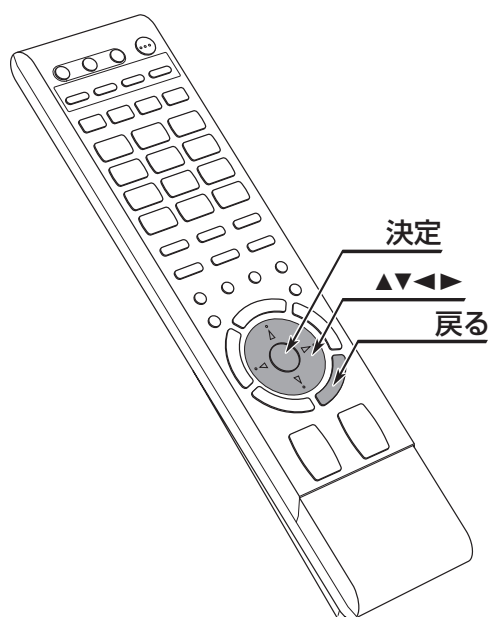
- ・ アンテナケーブルの近くに、他の機器やケーブルがありませんか？
- ・ アンテナの向きは調整しましたか？  
→ 41ページ「アンテナの設定」で受信感度を確認できます。

### 外部機器が映らない！

- ・ 必要な接続がされていますか？
- ・ 正しい入力を選んでいませんか？→ 27ページ

### 画像の端が切れてる！

- ・ 故障ではありません。画面サイズボタンで表示される画面の大きさを選択してください。  
→ 27ページ





# 楽 む

- 26 基本の操作
- 28 便利な機能
- 30 番組表で番組を探す
- 32 ホームメニューで情報を確認する
- 33 インターネットを楽しむ — アクトビラ
- 34 DLNA機器のデータを再生する
- 35 SDカードの画像を見る
- 36 接続一覧
- 37 メニュー操作

# 基本の操作

## 1 電源を入れる

電源/機能待機ランプが点灯します。

## 2 見たい放送に切り換える

- 地上アナログ放送を見る




- 地上デジタル放送を見る



- 衛星デジタル放送を見る



## 3 チャンネルを選ぶ

- でもチャンネルを変えられます。
- このほかにもチャンネルの選びかたがあります。→ 右ページ

## 4 音量を調整する

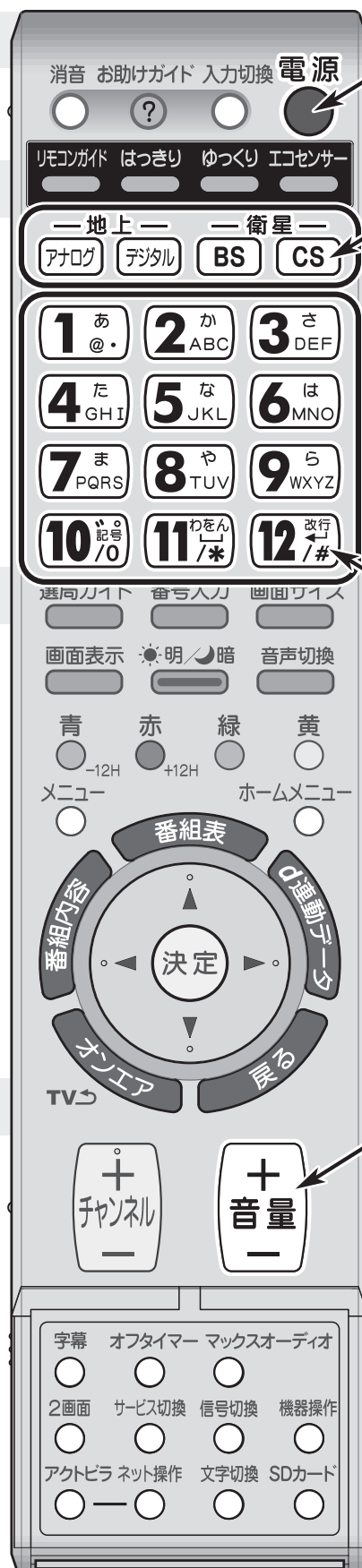
急いで音を消すには

消音



を押す

もう一度押すと元の音量に戻ります。



## チャンネルの選びかた

数字ボタンやチャンネルボタンを使う以外にもチャンネルを選ぶ方法があります。

### 3ケタのチャンネル番号で選ぶ 034

番号入力

 を押す



数字ボタンで3ケタのチャンネル番号を入力してください。

- ・お住まいの地域によっては4ケタ目の枝番号を入力する必要があります。 037

### 選局ガイドで選ぶ 036

選局ガイド

 を押す

見たいチャンネルに対応する数字ボタンを押してください。

選局ガイド			BS
101 1 NHK 1	102 2 NHK 2	103 3 NHK h	
141 4 BS 1	151 5 BS A	161 6 BS 2	
171 7 BSJ	181 8 BS FUJI	191 9 WOWOW	
200 10 STAR	211 11 BS 11	222 12 TBS 12	

1/3ページ

### 番組表で見たい番組を選ぶ

→ 30ページ

## つないだ機器の映像・音声を楽しむ 165

外部機器の映像を見るときは、機器をつないだ外部入力に切り換えます。

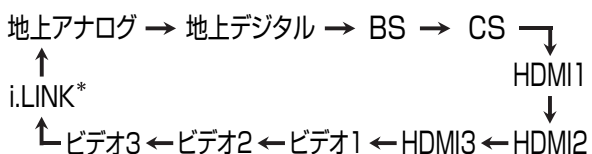
入力切換

 を押す

- ・▲▼ボタンを押して入力を選んでください。
- ・入力切換ボタンを押したあとに数字ボタンを押すと対応する入力を直接選べます。

入力切換
1 BS 103
2 HDMI 1
3 HDMI 2
4 HDMI 3
5 ビデオ 1
6 ビデオ 2
7 ビデオ 3
8 i.LINK*

- ・本体の入力切換ボタンを押すと、次のように入力が切り換わります。



\*録画機器をi.LINKコードでつないでいるときに表示されます。

## 画面のサイズを変える 406

画面の端が切れたり、画面の周囲の黒い帯が気になるときは、表示される画面のサイズを変えます。

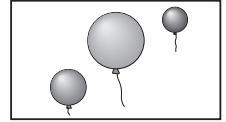
画面サイズ

 を押す

デジタル放送(750p、1125i)のとき

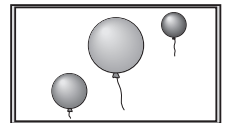
フル

オリジナルサイズ(16:9)の映像を、画面いっぱいに見るとき



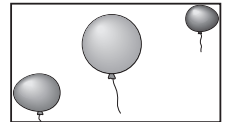
ピュアHD

1125iの映像を拡大せずに見るとき



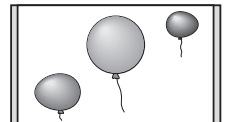
パノラマズーム1

自然に拡大して見るとき



パノラマズーム2

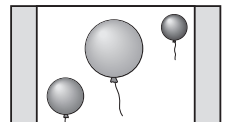
自然に拡大して見るとき



地上アナログ放送やビデオ、デジタル放送(525i、525p)のとき

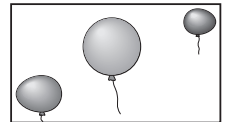
ノーマル

オリジナルサイズ(4:3)で見るとき



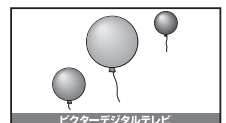
パノラマ

自然に拡大して見るとき



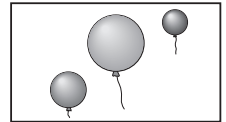
字幕パノラマ

字幕入りの映画番組を見るとき



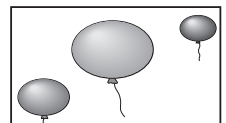
シネマ

映画番組を見るとき



フル

オリジナルサイズ(4:3)の映像を、画面いっぱいに拡大して見るとき



- ・映像によっては黒い帯が残ったりすることがあります。



# 便利な機能

リモコンボタンでできる操作です。


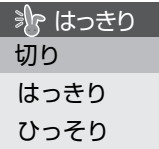
## テレビの使いかたを調べる 254

**お助けガイド** わからない用語について調べたり、今使っている機能の解説ページを開いたりできます。→6ページ

## リモコンボタンの機能を知る 230


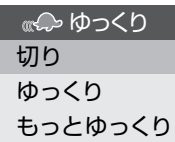
**リモコンガイド** ボタンの機能をテレビがしゃべってお知らせします。→7ページ

## 音声を聞きやすくする 113

**はっきり**  
   
はっきり:アナウンサーの声やドラマの会話を聞こえやすい自然な音量にします。

**ひっそり**:音量を小さくしても人の声ははっきり聞こえます。

## 音声をゆっくりにする 114

**ゆっくり**  
   
ゆっくり 言葉と言葉の間を利用して速度を調節し、会話を自然で聞き取りやすくします。

## 字幕を表示する 025

**字幕**  

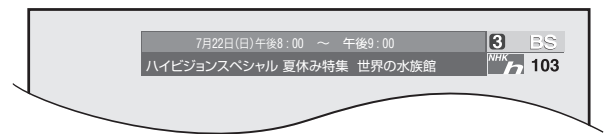

## 音声を切り換える 112

**音声切換** ステレオ/モノラル、主/副音声がある番組で音声を切り換えます。

## 情報を見る 031

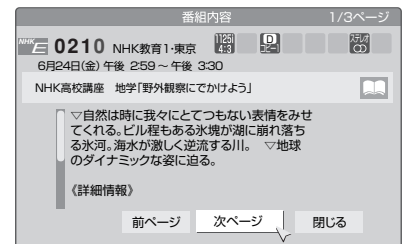
**画面表示**  


番組の情報、または選んでいる接続機器の名前を画面の上部に表示します。



## 番組の内容を見る 038

**番組内容**



## 番組表を見る 039

**番組表**

→30ページ

## 番組に連動したデータ放送を見る 049

**d連動データ**

## 放送画面に戻る 210

**TVオンエア**  


## 自動的に電源を切る 023

**オフタイマー**  


**オフタイマー**  
切り(解除)  
30分  
1時間  
1時間30分  
2時間

## ホームメニューを開く 423

ホームメニュー  いろいろな操作の入り口となる「ホームメニュー」を開きます。

- ・ テレビの使いかたを調べる → 4ページ
- ・ 番組を探す → 32ページ
- ・ 放送局からの情報を見る → 32ページ

## メニューを開く 400

メニュー

いろいろな設定をするためのメニューを開きます。→ 37ページ



## 音質を調節する 403

マックスオーディオ  音質の設定をするマックスオーディオメニューを呼び出します。→ 39ページ

## 映像と音声の組み合わせを選ぶ 082

明  暗 視聴環境に合わせて映像と音声の設定を選びます。→ 38ページ

## 画面の明るさを自動的に調節する 142

エコセンサー  映像の明るさや部屋の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節します。

入り: オートピクチャーとE.E.センサーの両方がはたらきます。

ユーザー: オートピクチャーとE.E.センサーの現在の設定を適用します。(→ 38、39ページ)

## 2つの映像を同時に見る 040

2画面  異なる番組やビデオなどの映像を、2つの画面で同時に楽しめます。



デジタル放送(1125i、750p、525p)の映像をご覧のとき

- ・ 同じチューナーのチャンネルを左右で見ることができません。そのほかにも同時に見ることのできない映像の組み合わせがあります。

## 信号を切り換える 047

信号切換  デジタル放送には、マルチビューなど複数の映像を放送している番組や、複数の音声信号を放送している番組があります。このような番組で、映像と音声を切り換えます。

## 独立データ放送、ラジオ放送を楽しむ 046 042

サービス切換  テレビ放送 → ラジオ放送  
データ放送 ←

## つないだ機器を操作する 428

機器操作  本機に接続されたi.LINK機器またはDLNA機器を操作します。→ 34ページ

## SDカードの画像を見る 119

SDカード  SDカードの画像一覧画面を開きます。→ 35ページ

楽しむ

便利な機能



# 番組表で番組を探す

どのチャンネルでいつ、どんな番組をやっているのか、テレビ画面で調べることができます。

## 番組表を見る

039

## テレビ放送画面に戻る

番組表

を押す

番組表が画面に表示されます。



を押す

現在受信中の放送  
放送選択ボタンで変更できます。(→ 26ページ)

現在受信中のサービス(テレビ、ラジオ、データ)  
サービス切替ボタンで変更できます。(→ 29ページ)

文字広告

地上デジタル番組表  
この番組表はBS-1が放送しています

今日の日付、現在の時刻

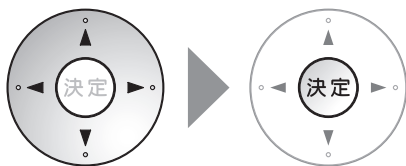
日付

選んでいる番組

選んでいる番組の情報

放送へ戻る 選択決定 前の画面へ 青 赤 +12時間 緑 黄 縮小

### 番組を選ぶ



番組を選んで決定ボタンを押すと、その番組を見るか、録画することができます。 → 右ページ

### 表示される時刻、日付を変える



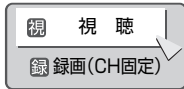
### 番組表を拡大、縮小する



### 番組表のデータ受信について

- 番組表は、BSデジタル放送のGガイドや、デジタル放送の電波で、1日数回配信されます。受信にはBS・110度CSデジタルアンテナ、地上デジタルアンテナの接続と設定が必要です。
- 地上アナログ放送の番組表は、BSデジタル放送のGガイドから配信されます。必ず、BS・110度CSデジタルアンテナの接続と設定が必要です。次回の配信時刻は、Gガイド受信確認(→ 41ページ)をご覧ください。

## 現在放送中の番組を選んだとき



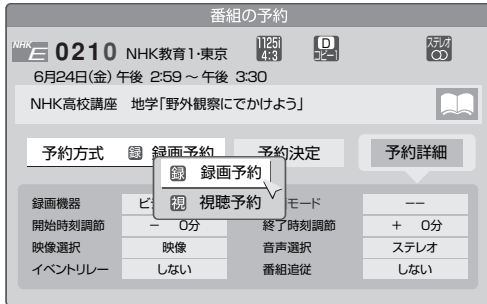
### 視聴

選んだ番組に切り換わります。

### 録画(CH固定)

選んだ番組の信号をモニター／録画出力端子から出力します。

## 放送予定の番組を選んだとき



### 視聴予約

番組が始まる時刻にテレビの電源が入っていると、自動的にその番組に切り換わります。

### 録画予約

番組が始まる時刻になるとその番組の信号をモニター／録画出力端子から出力します。

## 番組を録画する 058 070

- 1 番組表で録画したい番組を選ぶ
- 2 「録画(CH固定)」または「録画予約」を選ぶ
- 3 予約方法を設定する  
「予約詳細」から下記のような項目を設定できます。
- 4 「予約決定」を選ぶ

### 録画／録画予約について

i.LINKで録画機器を接続するか、ビデオリモートコントローラーを設定しておく、録画機器側で自動的に録画が始まります。それ以外の接続の場合は、録画機器側で録画／録画予約の操作をしてください。

「予約詳細」では以下のような項目を設定できます。

録画機器	ビデオ(連動)／DVD(連動)	ビデオリモートコントローラーを使って録画するとき。
	i.LINK D-VHS1／i.LINK HDR1／i.LINK BD1 など	i.LINK機器で録画するとき。
	非連動	ビデオリモートコントローラーが使えないとき。
録画モード	デジタル、標準、3倍	
開始時刻調節	番組が始まる前から予約を始められます。最長5分前まで修正できます。	
終了時刻調節	番組が終了した後まで予約を続けられます。最長1時間後まで修正できます。	
映像選択	映像信号が複数あるときに設定できます。	
音声選択	音声信号が複数あるときに設定できます。	
イベントリレー	予約した番組が、別のチャンネルで延長されるときに、つづけて予約を実行します。(放送局からの情報があるときのみ)	
番組追従	放送時間の変更に合わせて、予約の開始時刻から最大3時間までの遅れに対応します。イベントリレーは行いません。	

## 予約内容の確認、修正をする

「ホームメニュー」から「予約一覧」を選んでください。

## 日時とチャンネルを指定して予約する

「ホームメニュー」から「日時指定で予約」を選んでください。

## 番組を検索する

021 026 027

番組表情報をもとに、ジャンルや出演者の名前から番組を探すことができます。

ホームメニュー

1  を押す



ジャンルから探す

人名から探す

キーワードから探す

2 条件を指定して、番組を検索します。

見つかった番組は、番組表から選んだときと同様に、視聴、録画、視聴予約、録画予約ができます。

## ホームメニューで情報を確認する

ホームメニュー

 を押す



トピックス	放送局から送られてくる情報トピックスを見ることができます。
メール	放送局から送られてくる情報や、本機の機能向上を行うダウンロード情報などを確認します。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。
情報	
CS1ボード	110度CSデジタル放送局から送られてくる情報や、ご案内などを確認できます。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。
CS2ボード	110度CSデジタル放送局から送られてくる情報や、ご案内などを確認できます。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。
購入履歴	購入した有料番組の放送日や番組名、金額などの履歴を確認することができます。





# インターネットを楽しむ – アクトビラ

## アクトビラとは

本機をブロードバンドに接続すれば、テレビをもっと楽しむための情報や、TVをもっと使いたくなるサービスが無料でお使いいただけます。

リモコンだけの簡単な操作で、安心安全なサービスを手軽にお楽しみいただけます。

事前にブロードバンドへの接続と設定が必要です。  
→ 22ページ

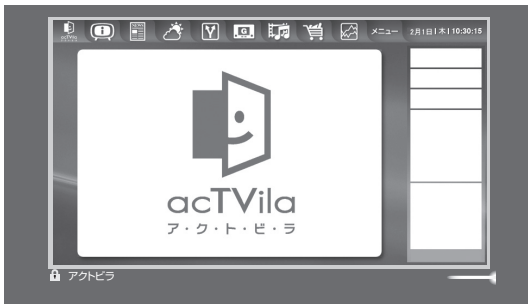
## アクトビラを始める

195

アクトビラ

### 1 ○ を押す

アクトビラのポータルサイトが表示されます。



### 2 ▲▼◀▶ボタンと決定ボタンで見たい項目を選ぶ



## アクトビラを終了する

TVの **オンエア** を押す

## インターネットの操作

191

ネット操作

○ を押す

画面の下部に操作パネルが表示されます。



**戻る** 1つ前のページに戻ります。

**進む** 1つ先のページに進みます。

**中止** 読み込みを中止します。

**更新** 表示中のページを再読み込みします。

**ホーム** ポータルサイトへ戻ります。

**お好み** お好みに登録したページを表示します。お好きなホームページを登録して、簡単に呼び出せます。

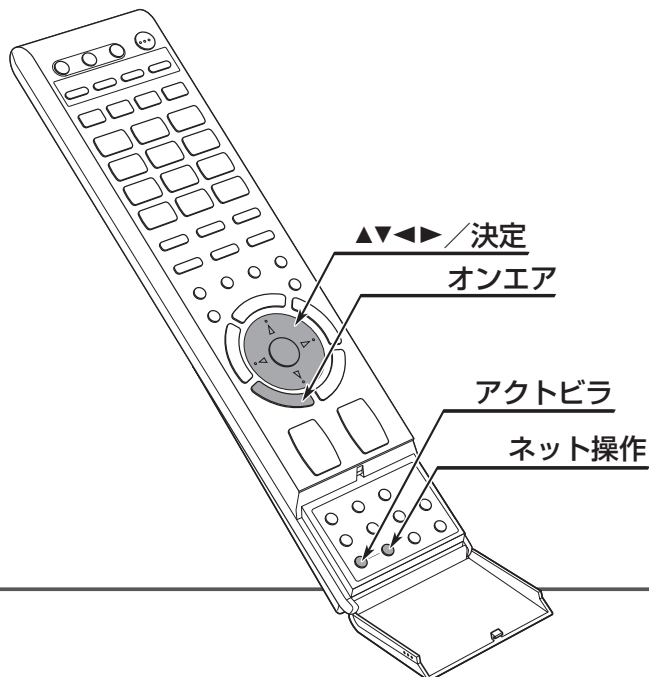
**ツール** アドレス入力、データの保存・再生、画面メモの機能を使います。

**ヘルプ** ネット操作のヘルプを表示します。

## 操作パネルを閉じる

ネット操作

もう一度 ○ を押す



楽しむ

ホームメニューで情報を確認する / インターネットを楽しむ

# DLNA機器のデータを再生する

ネットワーク上のDLNA機器のデータを本機で楽しむことができます。本機は動画と静止画の再生に対応しています。

事前にご家庭のネットワークへの接続が必要です。  
→ 22ページ

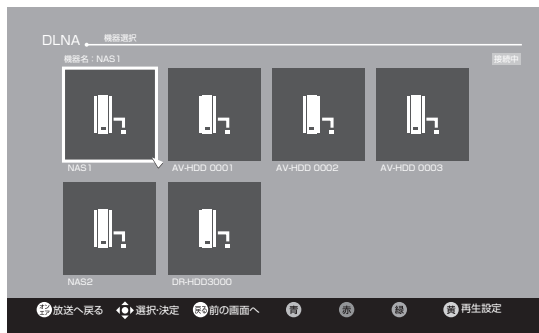
## ファイルを選んで再生する 248

1 **機器操作**  
○ を押す



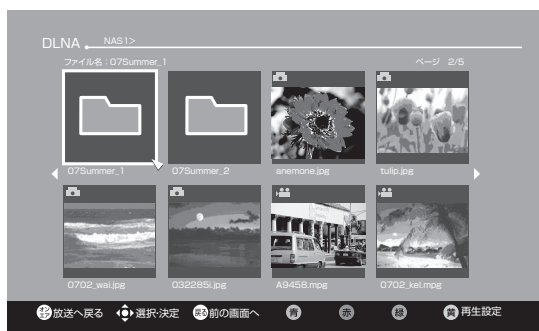
2 「DLNA機器」を選ぶ

接続している機器の一覧が表示されます。



3 ▲▼◀▶ ボタンと決定ボタンで機器を選ぶ

選んでいる機器のフォルダ・ファイルの一覧が表示されます。



4 ▲▼◀▶ ボタンと決定ボタンでフォルダをたどり、再生したいファイルを選ぶ

選んだファイルの再生が始まります。

## 再生方法を設定する

機器一覧画面またはフォルダ・ファイル一覧画面  
**黄**  
で○を押す

スライドショーの再生間隔、再生する音声、サムネイルの表示方式が設定できます。

## テレビからDLNA機器を操作する 249

**機器操作**  
ファイルの再生中に ○ を押す

操作パネルが表示されます。

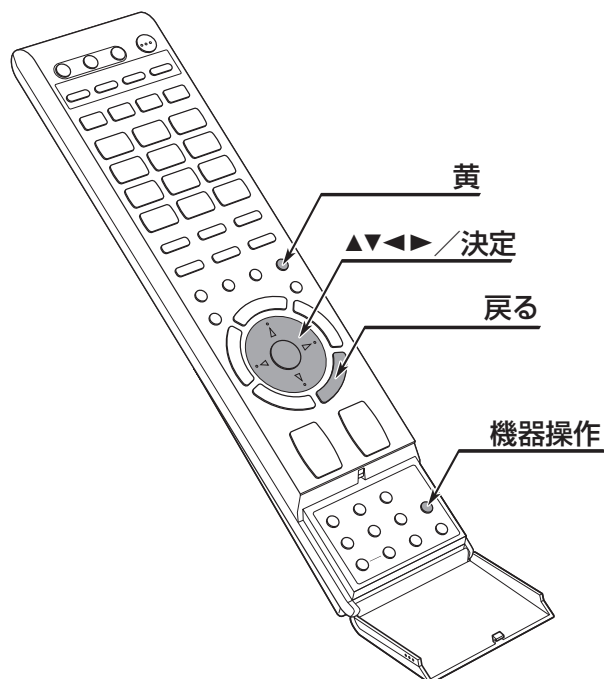


▲▼◀▶ ボタンでボタンを選び、決定ボタンを押してください。

カラーボタンでも操作できます。

## 再生を終了する

**戻る**  
を押す

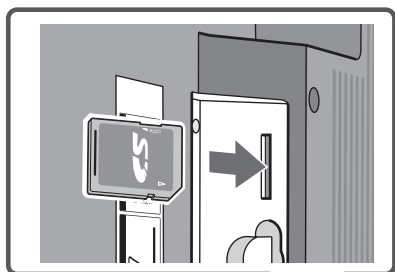


# SDカードの画像を見る

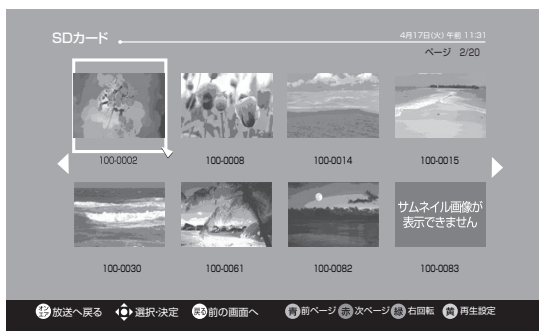
SDカードに記録したデジタルカメラの静止画像を再生できます。

## SDカードを入れる

122



画像の一覧が表示されます。



テレビ画面に戻るには



を押す

再び画像一覧を見るには

SDカード  
を押す

SDカードを抜くには

SDカードを指で押し込む

## 一枚ずつ見る

119

画像一覧画面で見た画像を選び、**決定**を押す  
選んだ画像が大きく表示されます。



◀▶ ボタンで前後の画像を見ることができます。

一覧表示に戻るには



を押す

## 連続して見る

120

1 画像一覧画面で **黄** を押す

再生間隔の設定画面が開きます。



2 再生時間を選ぶ

3 画像を選んで **決定** を押す

その画像から順に連続して画像が表示されます。

再生を一時停止するには

**決定** を押す

もう一度押すと再生が再開されます。

楽しむ

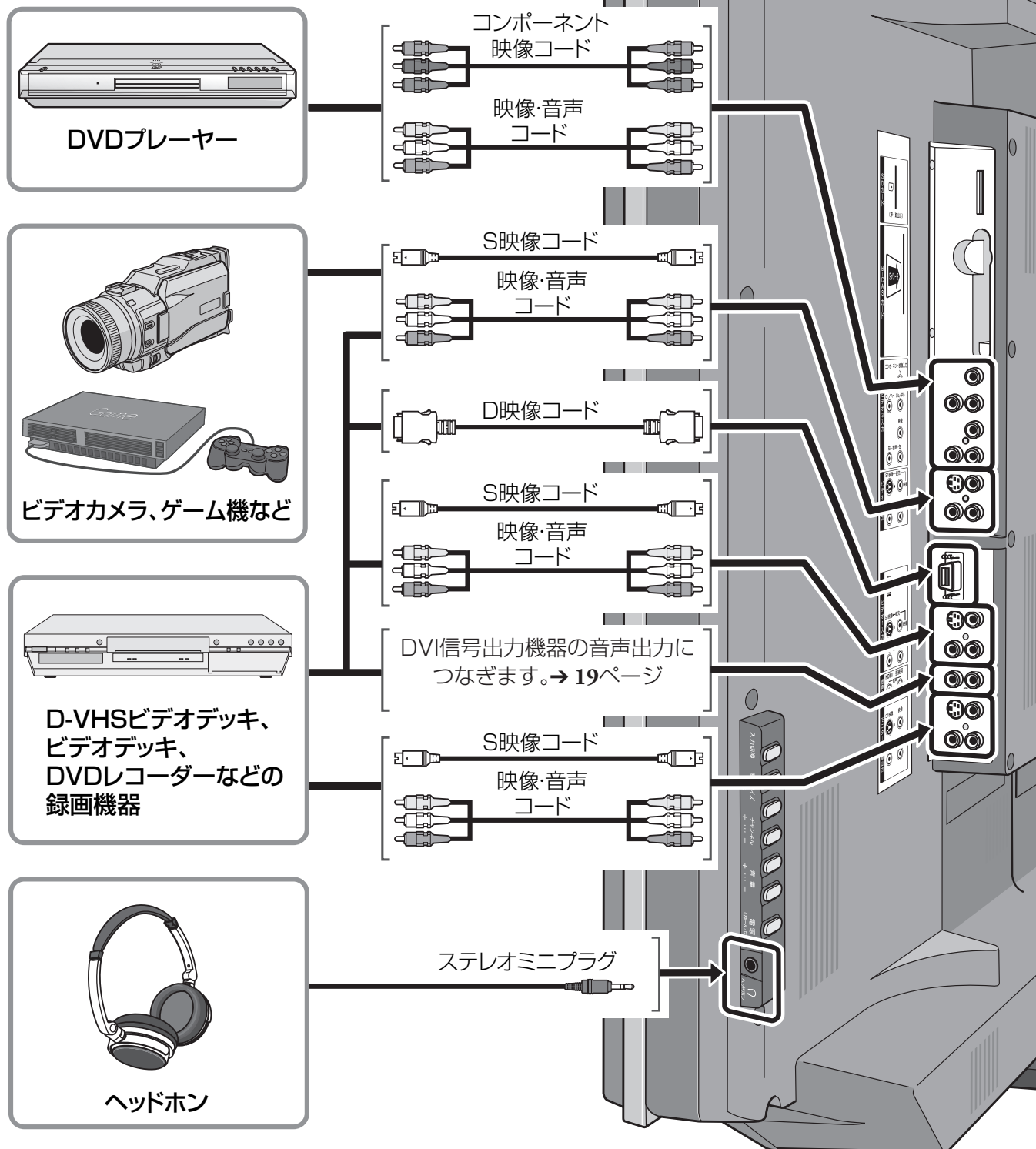
DLNA機器のデータを再生する / SDカードの画像を見る



# 接続一覧

接続のあと、対応する入力を選んでください。→ 27ページ

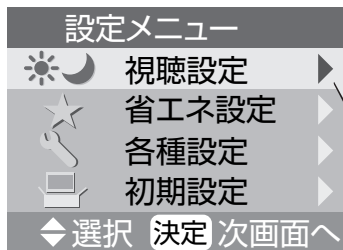
- ・ アンテナの接続 → 16ページ
- ・ i.LINK機器の接続 → 18ページ
- ・ HDMI・DVIの接続 → 19ページ
- ・ 光デジタル音声コードの接続 → 21ページ
- ・ ビデオリモートコントローラーの接続 → 21ページ
- ・ 電話線、インターネットの接続 → 22ページ



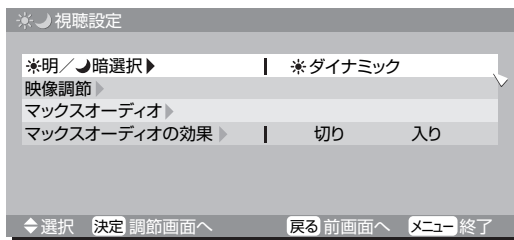
# メニュー操作

メニュー  
 を押す

設定メニューが開きます。



## 視聴設定 → 38ページ 402



## 省エネ設定 → 39ページ 404



## 各種設定 → 40ページ 405

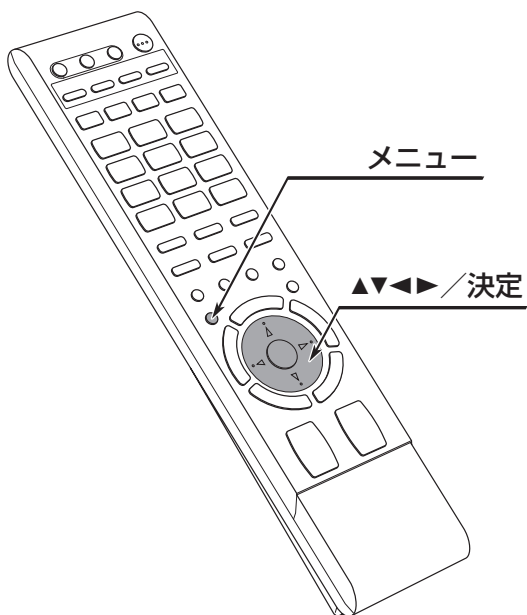


各メニュー画面内では、**▲▼◀▶**ボタンで項目を選択し、**決定**ボタンで設定を選んでください。

### メニューを消すには








メニュー  
 を押す












## 初期設定 → 40ページ 408



簡単設定ウィザード → 24ページ	受信に必要な設定を自動で行います。
地上アナログ	地上アナログ放送の設定をします。
地上デジタル	地上デジタル放送の設定をします。
BS/CSデジタル	BS/CSデジタル放送の設定をします。
デジタル放送共通	本機に接続した機器に関する設定や安心してご使用いただくための設定をします。
ネットワーク	アクトビラやデータ放送を使うための設定をします。



 明 /  暗選択	視聴環境にあった映像と音声の組み合わせを選ぶことができます。	 テレビ、  シネマ、  シアタークール、  シアターウォーム、  ダイナミック
---	--------------------------------	--

映像調節		
「  明 /  暗選択」の現在の設定について以下のような映像の調節ができます。		
ピクチャー	明るさ、色の濃さを決めます。	薄く ↔ 濃く
黒レベル	見やすい明るさにします。	暗く ↔ 明るく
色あい	お好みの肌色に調節します。	赤っぽく ↔ 緑っぽく
色の濃さ	発色を調節します。	薄く ↔ 濃く
シャープネス	好みの輪郭にします。「  明 /  暗選択」が「  シアターウォーム」のときははたらきません。	やわらか ↔ くっきり
バックライト	画面の明るさを調節します。	暗く ↔ 明るく
オートピクチャー	画面全体の明るさが、映像にあわせて目にやさしい明るさに自動的に調節されます。「  明 /  暗選択」が「  ダイナミック」のときは働きません。	切り、入り
インテリジェントガンマ	明るい映像も暗い映像も、質感を保ちながら鮮やかに再現します。	切り、入り
ノイズクリア	画面のざらつきが少なくなるように調節します。	切り、弱い、強い、自動
MPEG NR	MPEG画像のノイズ(モスキートノイズ、デジタル入力時のブロックノイズ)を減らします。	切り、入り
DCC(DETカラークリエーション)	くすんだ色を自然な色調に補正します。	標準、弱い
色温度	画面の色調を選びます。	高い色温度(青が強い)、 低い色温度(赤が強い)
シアタープロ設定		
さらに細かい映像の調節をします。「  明 /  暗選択」が「  シアターウォーム」のときのみ調節できます。		
DSDエッジ	映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。	- (輪郭をつけない) ↔ + (輪郭をつける)
Hシャープネス Vシャープネス	輪郭を強調してはっきりとした映像にします。(交互に調節)	- (輪郭を強調しない) ↔ + (輪郭を強調する)
DSDコアリング	画面のざらざら感(ノイズ)を抑えます。	- (あまりノイズを除去しない) ↔ + (よりノイズを除去する)
色温度 赤 色温度 青 色温度 緑	画面全体の色(赤味、青味、緑味)を交互に調節します。	- (赤を弱くする) ↔ + (赤を強くする) - (青を弱くする) ↔ + (青を強くする) - (緑を弱くする) ↔ + (緑を強くする)
色バランス	肌色以外の色が自然な色になるように青みを調節します。	- (青みを弱くする) ↔ + (青みを強くする)

DCCが「標準」のときは、DETカラークリエーションでさらに細かく設定できます。	
DCC赤色・黄色・緑色・水色色選択	DCCで補正する色を選びます。
DCC赤色・黄色・緑色・水色色あい	「DCC色選択」で指定した色の色あいを調節します。
DCC赤色・黄色・緑色・水色色の濃さ	「DCC色選択」で指定した色の濃さを調節します。
明部:色の濃さ	黄色や緑色などの明るさ成分の高い色の濃さを調節します。
暗部:色の濃さ	赤色や青色などの明るさ成分の低い色の濃さを調節します。
シアタープロ設定を標準に戻す	お買い上げ時の設定に戻します。
映像調節を標準に戻す	「☀明/☾暗選択」で選んでいる画質を、お買い上げ時の設定に戻します。

マックスオーディオ 「☀明/☾暗選択」の現在の設定について以下のような音質の調節ができます。

マックスベース	低音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
マックストレブル	高音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
マックスステレオ	臨場感を調節します。	音場を弱める ↔ 音場を強める
マックスボリューム	音量のばらつきを低減します。	切り、入り
バランス	左右の音量を調節します。	左側が大きく ↔ 右側が大きく
標準に戻す	お買い上げ時の設定に戻します。	

マックスオーディオの効果	マックスオーディオの機能を使うかどうかを設定します。	切り、入り
--------------	----------------------------	-------

省エネ設定 ★

404

E.E.センサー	部屋の明るさに合わせて、画面の明るさが自動的に調節されます。	切り、入り
無信号電源オートオフ	放送終了後やビデオの再生終了後、約4分経過すると自動的に電源が切れるように設定します。デジタル放送をご覧のときは働きません。	切り、入り
テレビ消し忘れ防止設定	何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れるように設定します。	切り、入り
エコセンサーの効果表示	オートピクチャー (→ 38ページ) とE.E.センサーの効果のレベルを星マークでテレビ画面に表示します。(→ 29ページ)	切り、入り



画面位置の調整	画面の上下左右の位置を調節します。	▲▼◀▶ボタンで調節する
画面サイズ	映像を表示する画面サイズを選びます。(→ 27ページ)	フル、ピュアHD、パノラマズーム1、パノラマズーム2、ノーマル、パノラマ、字幕パノラマ、シネマ
ナチュラルシネマ	フィルム撮影された映画などを、動きの速いところもぼんやり感のない映像で表示します。	切り、入り、自動
外部映像入力設定	外部入力端子につないだ機器の入力表示を設定します。	
設定する入力	設定を変更する外部入力名を選びます。	ビデオ1~3、HDMI1~3
画面の表示	画面に表示される外部入力名を選びます。	ビデオ1~3、HDMI1~3、VTR、DVD、DVR1、DVR2、HDR、ムービー、CSデジタル、ゲーム
入力スキップ設定	リモコンの <b>入力切換ボタン</b> でその外部入力を選ぶようにするかしないかを設定します。	見る、見ない
ビデオ入力接続設定	i.LINKまたはHDMIで接続した機器の入力設定をします。	
i.LINK自動切換	i.LINK機器で再生を始めたとき、入力を自動的にi.LINKに切り換えるかどうか設定します。	しない、する
HDMI音声入力	HDMI接続した機器の音声信号の種類を選びます。	デジタル、アナログ、自動
HDMI入力VGA判別	HDMI接続した機器の画面サイズを自動で判別するかVGAに固定するかを設定します。	自動、VGA
ビデオ1入力のモニター出力	ビデオ1入力の映像が乱れるときに、ビデオ1入力端子からの信号をモニター出力しないように設定します。	切り、入り
HD自動切換設定	1125iの映像を表示する画面サイズを設定します。	フル、ピュアHD
倍速120コマ	倍速120コマ(残像を低減して画像をくっきりさせます)の自動デモを設定します。	デモ解除、デモ設定



■ 地上アナログ

地域チャンネル合わせ	お住まいの地域で受信できるチャンネルを自動的に探して設定します。	
チャンネルの設定	1~12の <b>数字ボタン</b> ごとに、見るチャンネルを設定します。	
見るチャンネル	<b>数字ボタン</b> を押したときに受信するチャンネルを設定します。	1~62、C13~C38
画面の表示	選局時の画面表示の設定をします。	1~62、C13~C38
+ボタン選局	空きチャンネルを <b>チャンネル+/-ボタン</b> で選べないようにする設定(チャンネルスキップ)をします。	見る、スキップ
受像微調整画面へ	映像がもっともきれいになるように調整します。	
CATV選局方式の設定	CATVをご覧になるときに設定します。チャンネル番号を直接入力して選局できます。	12ボタン方式、数字入力方式



CATVチャンネルの設定変更	CATVのチャンネル設定を変更します。選局方式で、「数字入力方式」を選んでいるときに設定します。	「設定するチャンネル」、「＋ボタン選局」、「受像微調整画面へ」
放送局名設定	番組表を表示するために、放送局名を設定します。	

## ■ 地上デジタル

地域設定	お住まいの地域の情報を受信するための設定をします。	
チャンネルスキャン	お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探して設定します。引っ越したとき、新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変わったときに行ないます。	
チャンネルの設定	数字ボタンで選べる受信チャンネルを変更したり、空きチャンネルに受信できるチャンネルを割り当てたりすることができます。	
アンテナの設定	地上デジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。良好に受信するための受信レベルの目安は50以上です。	

## ■ BS/CSデジタル

アンテナの設定	衛星アンテナへの電源供給をするかしないかを設定します。 BS/CSデジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。良好に受信するための受信レベルの目安は45以上です。	する(個別)、しない(共聴)
番組表の設定	番組表を受信するための放送局を設定します。	
受信チャンネル	番組表を受信する放送局が表示されます。	
Gガイド受信地域の設定	お住まいの地域に合わせて、番組表に表示する放送局を設定します。	
Gガイド受信確認	番組データを受信する時刻を確認できます。BS・110度CSデジタルアンテナが接続されていないとデータが受信できません。	
BS選局ガイドチャンネルの設定 CS選局ガイドチャンネルの設定	リモコンの数字ボタンで選局できる衛星デジタル放送のチャンネルを設定します。	登録したいリモコン番号と、登録するチャンネル番号を▲▼◀▶ボタンで選んで設定する
衛星情報の設定	デジタル放送局から電波を受信するための設定をします。	BS:15、CS1:2、CS2:4 通常は変更しないでください

## ■ デジタル放送共通

年齢による視聴制限の設定	年齢による視聴制限を設定します。 視聴年齢を設定すると、制限の対象になる番組は、暗証番号を入力しない限り視聴することはできません。	1歳～19歳、制限なし
接続録画機器の設定	ビデオリモートコントローラーで録画機器を操作するための設定をします。	
お知らせ音の設定	お知らせ音の音量を設定します。	なし、あり:音量小、あり:音量大
暗証番号の設定	視聴制限を設定・解除するための暗証番号を登録・変更します。	4ケタの暗証番号を入力する
B-CASカード番号の表示	カスタマーセンターへ問い合わせる際など、B-CASカードの番号などを調べる必要があるときに、B-CASカードの情報を確認できます。	
自動ダウンロードの設定	機能の追加やサービスへの対応のためのプログラムのダウンロードを自動で行うかどうかを設定します。	する、しない

録画映像の設定	本機の映像出力から出力される映像信号のサイズを設定します。	テレビ用、ワイドテレビ用
光デジタル音声出力の設定	接続している機器に合わせて、光デジタル音声信号の種類を設定します。	2CH リニアPCM、AAC
文字スーパーの設定	速報ニュースなどを表示するための文字スーパー表示の有無や、表示言語を選びます。	日本語で表示、英語で表示、表示しない
地域の設定	お住まいの都道府県を設定します。	表示される都道府県名から選ぶ
郵便番号の設定	郵便番号を設定します。	<b>数字ボタン</b> で郵便番号を入力する
電話の設定	電話回線の接続に関する設定をします。	
電話回線の種類	電話回線の種類を設定します。(通常は「自動」に設定します)	自動、ダイヤル回線(1OPPS)、ダイヤル回線(2OPPS)、プッシュ回線
外線発信番号の設定	外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機をつないでいるときに設定します。	外線発信番号を入力して設定する
ダイヤルポーズの設定	外線発信番号を出力後の、休止時間挿入を設定します。	する、しない
ダイヤルトーン検出の設定	電話の発信時の、ダイヤルトーン検出を設定します。	する、しない
B-CASセンター接続の設定	B-CASカード情報や有料番組購入情報などの、センターへの自動送信を設定します。	自動、切り
番号通知の設定	電話番号の通知を設定します。	なし、通知する、通知しない
電話会社の設定	接続する電話会社を設定します。	マイラインプラスの加入、電話会社の番号を設定する
電話のテスト	電話回線が正しく設定されているかテストします。	
終了	電話の設定を終了します。	
起動優先の設定	起動時間が短くなる設定をします。	切り、入り
HDMI機器制御設定	HDMI CECを使うかどうか設定します。(→ 49ページ)	制御する、制御しない
設定のリセット	各種調整・設定値を工場出荷時の設定に戻します。また、個人情報を消去します。	
設定項目リセット	各種調整・設定値を工場出荷状態に戻します。	
個人情報消去	本機を初期化して、本機に記録されている視聴履歴などの個人情報をすべて消します。	

## ■ ネットワーク

接続設定	ネットワークへの接続に関する設定や、ネットワークの接続テストをします。	
IPアドレスの自動取得	IPアドレスを自動取得するか、手入力するか設定します。通常は「自動取得」を選んでください。	
DNSアドレスの自動取得	DNSアドレスを自動取得するか、手入力するか設定します。通常は「自動取得」を選んでください。	
プロキシサーバーの設定	プロキシサーバーを使用するかどうか設定します。プロバイダーから指定があったときのみ、設定をしてください。	
文字入力方式の設定	アクトピラでの文字の入力方式を設定します。	キーボード方式、携帯電話方式

# 知る

- 44 故障かな?と思ったら
- 50 こんなメッセージが出たら
- 51 お助けガイドの項目一覧
- 54 主な仕様
- 56 保証とアフターサービス
- 59 索引

# 故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 画面が乱れる／映像に縦線や横線が出る

- 他の機器からノイズが入っていませんか？
- アンテナケーブルの近くに、他の機器やケーブルがありませんか？

## 映像や音声が出なくなったり、映像にモザイク状の四角いマスが出るようになった

- アンテナの向きが風や振動で変わっていませんか？
- アンテナケーブルが劣化していませんか？

## リモコンで操作ができない

- 電池は正しい向きで入っていますか？
- 電池が消耗していませんか？
- リモコンを本体に向けずに操作していませんか？
- リモコンと本体の間が障害物にさえぎられていませんか？

## 放送が映らない

- アンテナは正しくつながっていますか？
- 放送に対応したアンテナやケーブル、分配器を使っていますか？

## 電源が入らない

- 電源プラグは正しくつながっていますか？
- 電源ボタンをくり返し押ししていませんか？

## こんなときは故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。
- 静止画を表示し続けたときに、画面に残像が生じることがあります。残像はしばらくすると消えます。
- 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ心配ありません。
  - ・ ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる場合。
  - ・ 本体の天面や背面の一部が熱くなっている場合。
  - ・ 本機から「ミシッ」という音がする場合。
  - ・ 本体の内部から動作音が聞こえる場合。
- 本機が正常に操作できなくなった場合は、次の操作を行なってください。
  - 1 本体の**チャンネル-(マイナス)ボタン**と**入力切換ボタン**を同時に5秒以上押し続ける。  
電源が切れ、電源/機能待機ランプが消えます。
  - 2 本体の**電源ボタン**を押して電源を入れ直す。  
※電源・機能待機ランプが赤く点灯しているときは、この操作はできません。

## 放送の受信

<b>地上アナログ放送が映らない</b>		
アンテナをUHF/VHFアンテナ入力端子に正しく接続する。	16	260
チャンネル設定を正しく設定する。	40	411
受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	40	013

### 地上アナログ放送のチャンネルが番組表に表示されない

「地上アナログ」設定で「放送局名設定」を正しく設定する。		
・番組表には「地域設定」で選んでいる地域の地上アナログチャンネルが表示されます。地域の境界では番組表には表示されないチャンネルがある場合があります。	40	015

### CATVが映らない

受信契約をする。	-	-
ケーブルを正しく接続する。	-	-
受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	40	413
「CATV選局方式の設定」を「数字入力方式」にする。		
・「CATV選局方式の設定」が「12ボタン方式」の場合、CATVのチャンネル(C13~C38)は <b>チャンネル+/-ボタン</b> では選べません。	40	005

<b>地上デジタル放送が映らない</b>		
アンテナを地上デジタルアンテナ入力に正しく接続する。	16	260
正しい向きでB-CASカードを入れる。	23	001
簡単設定ウィザードを実行する。	24	004
受信レベルを確認する。	41	006
本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	-	-

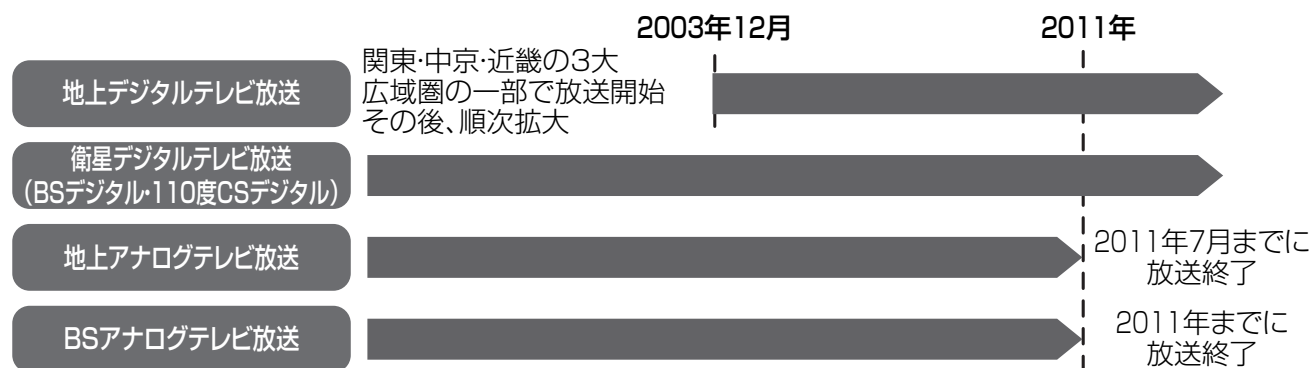
### 衛星デジタル放送が映らない

受信契約をする。	-	-
アンテナをBS・110度CSアンテナ入力端子に正しく接続する。	16	260
正しい向きでB-CASカードを入れる。	23	001
簡単設定ウィザードを実行する。	24	004
衛星アンテナへの電源供給を正しく設定する。	41	002
アンテナの前方にある障害物を取り除く。		
・大雨や雪が降っている場合でも、衛星からの電波が弱くなり、映らないことがあります。	-	-
本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	-	-

この取扱説明書のページ番号  
 お助けガイドのページ番号



### アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。



知る

故障かな?と思ったら

データ放送の一部を見ることができない	 
「ネットワーク」の設定を確認してください。	42 192

## 画面表示/映像

### 画面が乱れる／映像に縦線や横線が出る

アンテナケーブルを他の機器やケーブルから離してください。

- -

### 画面表示が消えない

受信できるチャンネルを選ぶ。

26 032  
034  
035  
036

外部機器の映像を再生する。

- ・ 入力信号がないときに画面表示を消すことはできません。

27 165

### メニュー操作時などにオンエアボタンを押すと、外部入力の映像ではなく、テレビ放送に切り換わる

メニュー画面や設定画面が消えるまで、戻るボタンをくり返し押す。

- ・ オンエアボタンを押した場合は、入力切替ボタンを押して見たい外部入力を選んでください。

37 -

### 設定画面や操作画面が表示できない

予約録画を終了する。

- ・ 予約録画の実行中は、正しく録画できるように、設定画面の表示やその他の操作が制限されます。

31 070

### 「高速液晶」のデモが自動的に始まる

「倍速120コマ」の設定を「デモ解除」にする。

40 279

### 2画面にならない

下記の場合は2画面にはできません。

- ・ 左右の画面にデジタル放送の映像を映そうとした場合。
- ・ 左右の画面に同じチャンネルや外部入力の映像を映そうとした場合。
- ・ 予約録画の実行中。

29 040

### 色が出ない、おかしい



地上アナログ放送の場合は、「チャンネルの設定」で受信周波数を微調整する。

40 007

映像調節メニューで「色あい」や「色の濃さ」を調節する。

38 074

### 接続したAV機器からの映像が出ない

正しい外部入力を選ぶ。

27 165

AV機器を正しく接続する。

18-  
20 158  
245  
256  
170  
167  
171  
159

AV機器の電源を入れ、映像を再生する。

- -

i.LINK機器の場合、接続機器を正しく選択する。

- 428

i.LINK機器の場合、「起動優先の設定」を「入り」に設定する。

42 162

D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。

- -

### 雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)

屋外のアンテナ線をつなぎ直す。

16 260

アンテナの向きを直す。

- ・ アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

- -

### 画面にはん点が出る(妨害)

ドライバー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。

- ・ アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

- -

### 画面にしま模様が出る(混信)

無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

- ・ アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

- -

 この取扱説明書のページ番号

 お助けガイドのページ番号

## 録画予約

<b>予約録画ができない</b>		
録画機器の入力を正しく切り換える。	-	-
録画予約を正しく設定する。	31	070
録画可能な番組を予約する。	-	216 221
ビデオリモートコントローラー(Irシステム)を正しく接続・設置・設定する。	21 41	247
本機に対応しているi.LINK機器を接続する。	-	-
i.LINK機器を正しく接続・設定する。	18	159 246
<b>録画機器が選べない</b>		
「接続録画機器の設定」を正しく設定する。	41	163
「i.LINK接続機器選択」を正しく設定する。	-	428
<b>機器操作でi.LINK機器を操作できない</b>		
あまり多くのi.LINK機器を同時に接続しない。	-	-
予約録画が終了してから操作する。	-	-
i.LINK機器の電源プラグはいつも差し込んだままにする。	-	-
i.LINKケーブルを抜き差しする。	-	-

## 音声

<b>音が出ない</b>		
ヘッドホン端子からヘッドホンを抜く。	36	-
消音ボタンを押す。	26	019
<b>音声が重なって聞こえる</b>		
二重音声放送の音声を「主音声」または「副音声」に切り換える。	28	112
<b>映像の動きと音声が合わない</b>		
「ゆっくりトーク」を「切り」に設定する。	28	114
<b>音声が切り換えられない</b>		
下記の場合は音声を切り換えられません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>地上アナログ放送で、モノラル放送やステレオ放送の場合。</li> <li>デジタル放送で、音声多重や複数の音声信号がない番組の場合。</li> <li>外部入力の映像の場合。</li> <li>「ゆっくりトーク」を「ゆっくり」または「もっとゆっくり」に設定している場合。</li> </ul>	-	-

<b>接続したAV機器からの音声がでない</b>		
正しい外部入力を選ぶ。	27	165
AV機器を正しく接続する。	18- 20	158 245 256 170 167 171 159
AV機器の電源を入れる。	-	-
アンプの音量を0以外または消音以外にする。	-	-
i.LINK機器の場合、接続機器を正しく選択する。	-	428
i.LINK機器の場合、「起動優先の設定」を「入り」に設定する。	42	162
D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。	-	-
HDMI接続の場合、「ビデオ入力接続設定」を正しく設定する。	40	174 175
<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMI端子の音声入力、またはDVI音声端子からの入力信号はモニター/録画出力端子からは出力されません。</li> <li>本機のHDMI入力端子はドルビーデジタル方式の信号には対応していません。お使いの出力機器側の設定を「2CH PCM」に設定してください。(ドルビーデジタル方式の信号はLAN端子経由のDLNA機器からの信号にのみ対応します。)</li> </ul>	-	229
<b>音声が、接続していないスピーカーから聞こえる</b>		
ビデオ入力の音声コードを正しく接続してください。	20	158 171 170 167



知る

故障かな?と思ったら

この取扱説明書のページ番号  
 お助けガイドのページ番号



## ネットワーク



インターネットに接続できない		
ネットワーク(LANの設定、ブラウザの設定)を正しく設定する。	42	192
ブロードバンド環境でインターネットに接続する。	-	-
ブロードバンドルーターやハブ、ADSLモデムなどの設定を確認する。	-	-
・ 当社のアクトビラサポートホームページでも情報を提示しております。 <a href="http://www.jvc-victor.co.jp/support/tv/tnavi/index.html">http://www.jvc-victor.co.jp/support/tv/tnavi/index.html</a>	-	-

## その他

チャンネルを選ぶときの動作がおかしい		
CATVをご覧にならないときは「CATV選局方式の設定」を「12ボタン方式」にする。 ・ 「数字入力方式」に設定されている場合、 <b>数字ボタン</b> で直接選局することはできません。	40	005

衛星デジタル放送の投票や申し込みができなくなった		
電話回線の接続や設定を確認する。	22 42	261 417

電源を「切」にしたのに電源/機能待機ランプが赤く点灯している		
下記の場合は電源/機能待機ランプが赤く点灯します。 ・ 録画予約の実行中や番組表のデータを取得しているなどの場合。	15 42	258 162
・ 「起動優先の設定」を「入り」に設定している場合。		

録画予約が終わったのに電源/機能待機ランプが赤く点灯している		
終了処理のため、数分間赤く点灯する場合があります。	15	258

SDカードの画像が再生できない		
本機で再生できる画像データを記録する。	-	119
予約録画の実行中はSDカードの再生はできません。	-	-

外部入力を選べない		
「外部映像入力設定」の「入力スキップ設定」を「見る」に設定する。	40	169
i.LINK接続した機器の映像を見る場合、「i.LINK接続機器選択」を正しく設定する。	-	428
「i.LINK自動切換」が、選んでいる入力に設定されていないことを確認する。	40	161

HDMI CEC対応機器の動作がおかしい		
「HDMI機器制御設定」を「制御しない」にする。 ・ 本機のHDMI CECによる動作は、すべてのHDMI CEC対応機器に対して保証するものではありません。	42	280

突然電源が切れた		
オフタイマーか「テレビ消し忘れ防止」を設定していた場合、自動的に電源が切れます。	28 39	023 138
放送終了後に電源が切れたときは、「無信号電源オートオフ」機能が働いたためです。	39	139



## DLNA機器について

本機は、DLNAガイドラインに対応したネットワーク機器(サーバー)に記録された、静止画および映像を楽しめます。

### 接続対象機器

DLNAガイドラインに対応したネットワーク機器  
・ DLNAガイドラインに対応した機器は下記のホームページでご確認いただけます。  
<http://product.dlna.org/jp/>

### ネットワーク機器(サーバー)について

ネットワーク機器(サーバー)の種類によっては、ネットワーク機器側で登録が必要な場合もあります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。ネットワーク機器でファイアウォールが設定されている場合にはネットワーク機能が使えない場合があります。ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。必要の設定変更をしてください。

### 再生対象ファイル形式について

ネットワーク機器(サーバー)から送られるファイル形式が下記に該当するファイルを再生できます。ネットワーク機器(サーバー)によっては、ファイル形式を変換して送ります。その場合、変換されたあとのファイル形式が対象となります。詳しくは、ネットワーク機器(サーバー)の取扱説明書をご覧ください。

#### 静止画 JPEG形式

JPEG\_SM 640×480ドット以下  
JPEG\_MED 1024×768ドット以下  
JPEG\_LRG 4096×4096ドット以下のプロファイルに対応

- ・ ただし、全て1024×768以下で表示されます。
- ・ JPEG\_LRGのプログレッシブは再生できません。

#### 映像 MPEG2形式(DVD-VR(NTSC)準拠)

- ・ 上記のファイル形式でも、一部再生できない場合があります。

## HDMI機器制御機能について

HDMI CEC (Consumer Electronics Control) は、HDMI規格の中のオプションとして決められています。HDMI CEC対応の機器同士をHDMIケーブルで接続すると、互いに相手の機器を操作することができます。本機はHDMI CEC規格「High-Definition Multimedia Interface Specification」に書かれているCECの基本動作にのみ対応しています。

## HDMI機器制御機能を使うには

- ・ 本機のHDMI端子にHDMI CEC対応機器をHDMIケーブルで接続します。
- ・ 「HDMI機器制御設定」を「制御する」にします。  
→ 42ページ

### ご注意

- ・ 出荷時、「HDMI機器制御設定」は「制御する」に設定されています。
- ・ 全てのHDMI対応機器がCECに対応しているわけではありません。CECに対応していない機器を接続したときは、本機のHDMI機器制御機能は働きません。
- ・ 全てのHDMI CEC対応機器との動作を保証するものではありません。接続機器との動作が不安定になった場合は、「HDMI機器制御設定」を「制御しない」にしてください。
- ・ HDMI機器制御機能は、本機の全てのHDMI端子で共通の設定です。HDMI端子ごとに設定することはできません。

## 本機が対応可能なHDMI CECによる操作

### ■ HDMI CEC対応機器を操作すると、

- ・ TVの電源が入ります。
- ・ 本機の入力が切り換わり、その機器の映像が映ります。
- ・ TVの電源が切れます。

### ■ 本機の電源を切ると、CEC対応機器の電源が切れます。



### ■ 本機の入力を切り換えると、HDMI CEC対応機器に知らせます。



### ご注意

- ・ HDMI CEC対応機器の操作方法については、機器の取扱説明書をお読みください。
- ・ 本機の電源コードがコンセントに接続されていないとHDMI CECは動きません。
- ・ 本機がチャンネルスキャン中のときは、機器からの操作を受けつけません。
- ・ 機器の設定や動作状態(たとえば録画中など)によっては、本機の電源を切っても機器の電源が切れないことがあります。
- ・ 本機は、上記以外のCECによる動作(例えば、TVからDVDレコーダーを操作して、録画した番組を再生するなど)には対応していません。

# こんなメッセージが出たら

本機は、お使いの状況に合わせてメッセージを表示します。以下は主なメッセージとその対処方法です。表示されたときは、「こうしてください」欄をご確認いただき、正しくお使いください。  
メッセージ番号は、エラーの内容に応じて表示されます。

画面メッセージ	こうしてください	 i	
アンテナやケーブルがショートしています。アンテナとケーブルの接続をご確認ください。	アンテナを正しく接続・設定する。	16	260
放送チャンネルではないため、視聴できません。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・ 放送されていないチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
現在放送されていません。別のチャンネルを選んでください。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・ 放送休止中のチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
信号が受信できません。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・ 雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
	アンテナケーブルやコネクタを点検する。 ・ アンテナケーブルやコネクタに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	16	260
降雨などによる電波障害のため、自動的に降雨対応画面に切り換えています。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・ 雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
	アンテナケーブルやコネクタを点検する。 ・ アンテナケーブルやコネクタに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	16	260
SDカードが挿入されていません。	SDメモリーカードを挿入してから、SDカードボタンを押す。	35	119
時刻情報が取得できていないため、この機能は利用できません。	デジタル放送のアンテナ接続と設定を行なってください。	16 40	260 414 415
必要な情報が取得できませんでした。	デジタル放送のアンテナ接続と設定を行なってください。	16 40	260 414 415

	この取扱説明書のページ番号
	お助けガイドのページ番号

# お助けガイドの項目 一覧

解説ページを直接指定する → 7ページ

見出し一覧 000

## お助けガイドの使いかた

操作方法や分からない言葉を調べる 232  
お助けガイドボタンについて 254  
目次から探す 424  
用語から探す・用語選択 425  
用語から探す・検索結果 426

## 準備・接続

本体ボタンやランプについて 258  
リモコンについて 259  
アンテナをつなぐ 260  
電話線をつなぐ 261  
B-CASカードを入れる 001  
B-CASカードについて 206  
ビデオリモートコントローラーで予約 247  
ビデオデッキをつなぐ 171  
ビデオリモートコントローラーを設定 163  
D-VHSビデオデッキをつなぐ 159  
i.LINKを利用した録画予約をする 246  
i.LINK機器の使用設定をする 160  
起動時間が短くなるように設定する 162  
DVDプレーヤーをつなぐ 158  
DVDレコーダーをつなぐ 245  
ブルーレイディスクレコーダーをつなぐ 256  
オーディオ機器をつなぐ 164  
光デジタル音声信号を設定する 166  
ビデオカメラをつなぐ 170  
テレビゲーム機をつなぐ 167  
HDMI接続について 229  
HDMI接続した機器を制御する 280  
HDMI端子への音声入力を設定する 174  
HDMI端子への映像入力を設定する 175

## チャンネル設定

地上アナログ設定 410  
地上アナログのチャンネルを自動設定 012  
地上アナログ・チャンネルの設定1 411  
地上アナログ・チャンネルの設定2 412  
地上アナログのチャンネルボタン設定 010  
画面に表示するチャンネル番号を変える 255

チャンネルの切り換え時にスキップする 013  
映りが悪いチャンネルを微調整する 007  
アナログ放送の選局方法を選択する 005  
CATVチャンネルの設定変更 413  
ケーブルテレビのチャンネルを設定する 016  
番組表に表示する放送局名を設定する 015  
地上デジタル設定 414  
デジタル放送用に受信地域を設定する 008  
地上デジタルのチャンネルを自動設定 011  
地上デジタルのチャンネルボタン設定 009  
地上デジタル・チャンネルの設定 409  
地上デジタルの受信レベルを確認する 006  
BS/CSデジタル設定 415  
BS/CSアンテナの設定をする 002  
番組表の設定 429  
番組表の受信地域を設定する 052  
番組データを受信する時刻を確認する 053  
衛星情報の設定をする 014

## 見る

地上アナログ放送を見る 030  
地上デジタル放送を見る 044  
BSデジタル放送を見る 017  
CSデジタル放送を見る 018  
1~12ボタンでチャンネル切り換え 032  
+/-ボタンでチャンネル切り換え 035  
音量を調節する 020  
音を消す(ミュート) 019  
電源オフタイマーを設定する 023  
チャンネル番号や番組名などを表示する 031  
番組の内容を確認する 038  
はっきりステレオを使う 113  
ゆっくりトークを使う 114  
エコセンサーで省エネ設定する 142  
リモコンガイドでボタン機能を確認する 230  
リモコンガイドの音量を調節する 233  
チャンネル番号でチャンネル切り換え 034  
枝番号の異なるチャンネルを選択する 037  
選局ガイドでチャンネル切り換え 036  
選局ガイドの地デジチャンネルを変更 028  
選局ガイドのBS/CSチャンネルを変更 029  
接続した機器の映像を見る 165  
表示中の外部入力を画面に表示する 176  
データ放送について 220  
独立データ放送を見る 046  
ラジオ番組を視聴する 042  
番組に連動したデータ放送を見る 049  
データ放送の画面操作 045

知る

こんなメッセージが出たら / お助けガイドの項目一覧



## いろいろな機能

字幕を表示する	025
多重音声やステレオ放送の音声切り換え	112
番組に合った映像・音を一括で選択する	082
マルチビュー放送の映像を切り換える	047
複数の映像がある番組で映像を選択する	241
複数の音声がある番組で音声を選択する	242
信号切換	434
画面サイズ	406
画面サイズを変える(HD放送の時)	091
映像信号どおりの画面サイズで表示する	231
黒帯の出ない画面サイズに引き伸ばす	086
画面サイズを変える(SD放送の時)	090
2つの番組を同時に見る	040
2画面表示中に操作画面を切り換える	043
テレビからi.LINK機器を操作する	172
接続機器選択	428
i.LINKタイトルリスト	447
i.LINK機器番号をリセットする	177
ホームメニュー	423
放送メールを読む	126
放送局から送信されるトピックスを見る	125
CS1・CS2ボードを読む	127
有料番組の購入記録を確認する	129
有料番組購入累計額をリセットする	128
情報	427
DLNAについて	253
DLNA機器のデータを再生する	248
テレビからDLNA機器を操作する	249
DLNA機器のデータを自動で連続再生する	250
DLNA機器のデータの音声を切り換える	251
DLNA接続時のサムネイル表示を選択	266
DLNAのヘルプを見る	277
SDカードを入れる/抜く	122
SDカードの画像を見る	119
SDカード画像一覧のページを切り換える	124
SDカードの画像を回転する	123
SDカードの画像を自動で連続再生する	120

## 番組表・予約

番組表で番組を探す	039
番組表を拡大/縮小する	051
番組表の見かた	054
番組表の広告を見る	050
視聴/録画(CH固定)	430
見ている番組を録画する	058
見たい番組を予約する	062
有料番組を見る	041

有料番組を録画予約する	066
番組表について	223
ジャンルで番組を探す	026
ジャンル検索・結果	431
出演者名で番組を探す	027
人名検索・結果	432
キーワードで番組を探す	021
キーワード検索・結果	433
録画したい番組を予約する	070
番組の予約	421
予約方法の詳細設定	422
映像信号を選んで予約する	244
マルチビュー放送を録画する	056
音声信号を選んで予約する	060
放送チャンネル変更に対応するよう予約	059
イベントリレーについて	273
放送時間延長に対応するよう予約する	061
日時を指定して予約する	063
毎日同じ番組を予約する	064
毎週同じ番組を予約する	065
予約した番組を確認する	067
予約を取り消す	068
予約を変更する	069
予約について	227

## アクトビラ

アクトビラを見る	195
ブラウザを操作する	191
お好みページを見る	197
お好みページにホームページを登録	180
ブラウザで表示したデータを保存する	236
ネットワーク設定画面	441
ネットワークを設定する	192
アドレスの設定一覧	436
プロキシサーバーの設定一覧	438
プロキシアドレスの設定	439
プロキシポート番号の設定	440
アドレス値の設定	437
LANをつなぐ	263
ネットワーク接続テスト・確認	442
ネットワーク接続テスト・結果	443
文字入力方式を設定する	201
ネットワークの設定内容を確認する	257
リモコンボタンで文字を入力する	199
画面上のキーボードで文字を入力する	200
ネット用語解説	444

## 設定

映像調節を標準に戻す	105	プログラムの更新を手動で行う	144
設定のリセット	420	録画する映像のサイズを設定する	057
設定項目をリセットする	141	文字スーパーの設定をする	146
設定や履歴情報をすべて消去する	134	お住まいの都道府県を設定する	148
メニュー	400	郵便番号を設定する	149
視聴設定	402	電話の設定	417
映像調節	401	電話の設定をする	151
マックスオーディオ	403	電話の外線設定をする	154
省エネ設定	404	B-CASセンター接続の設定	445
各種設定	405	番号通知の設定	446
初期設定	408	電話会社の設定	418
映像を鮮やかにする	074	接続電話会社番号の設定	419
画面の明るさを変える	101	電話回線をテストする	152
オートピクチャーについて	275		
インテリジェントガンマについて	274	<b>こんなときは</b>	
ざらつき感をなくす	111	正常に動作しない時にリセットする	284
カラークリエーションについて	270	テレビが映らない	500
シアタープロ設定を標準に戻す	096	映像がおかしい	501
シアタープロの詳細な設定をする	077	画面がおかしい	502
音質を調節する	109	音声がおかしい	503
臨場感のある音声にする	115	接続機器がうまく使えない	504
音声の調節を標準に戻す	108	動作がおかしい	505
E.E.センサーで画面の明るさを自動調節	278	画面にメッセージが出た	506
放送終了後などに自動的に電源を切る	139		
無操作時に自動的に電源を切る	138	<b>解説を読もう</b>	
省エネ効果を確認する	140	BSデジタル放送について	207
画面の位置を調節する	089	i.LINKについて	211
映画鑑賞に適した設定にする	076	Irシステムについて	212
外部映像入力設定	407	110度CSデジタル放送について	205
入力切換の画面表示名を変える	168	PCMについて	267
外部入力を切り換える時にスキップする	169	D-VHSについて	209
ビデオ入力接続設定	435	SDカードについて	213
i.LINK機器からの入力に自動切り換え	161	オンエアボタンについて	210
HD放送受信時の画面サイズを設定する	252	アナログ録画について	215
ビデオ1入力時にモニター出力を切る	098	コピーガードについて	216
倍速120コマのデモを実行する	279	コンポーネント映像について	276
初期設定をやり直す	004	ケーブルテレビについて	208
デジタル放送共通設定	416	双方向番組について	217
年齢による視聴制限を設定する	136	テレビの視聴距離について	228
視聴制限した番組を見る	022	地上デジタル放送について	219
視聴制限を解除する	135	デジタル録画について	221
暗証番号を登録する	131	地上アナログ放送について	218
暗証番号を変更する	132	ナチュラルシネマについて	222
暗証番号を忘れたときは	133	マルチビュー放送について	225
操作音の音量を調節する	147	有料放送について	226
B-CASカードの情報を表示する	130	アクトビラについて	214
プログラムの更新を自動で行う	143		

# 主な仕様

## システム

- 受信方式 NTSC(VHF/UHF/CATV)
- 受信チャンネル  
VHF 1~12、UHF 13~62、CATV C13~C38  
地上デジタル放送のチャンネルに対応 000~999  
BSデジタル放送のチャンネルに対応 000~999  
110度CSデジタル放送のチャンネルに対応 000~999  
・CATVパススルー(全帯域)に対応
- 画面寸法(幅×高さ×対角)  
LT-47LH805(47V型)  
104.1 cm × 58.6 cm × 119.4 cm  
LT-42LH805(42V型)  
93.1 cm × 52.4 cm × 106.7 cm  
LT-37LH805(37V型)  
82.1 cm × 46.2 cm × 94.0 cm
- 表示画素数 水平:1920 垂直:1080
- スピーカー 4.5 cm×16 cm、2個
- 音声出力 10 W + 10 W

## 電源部

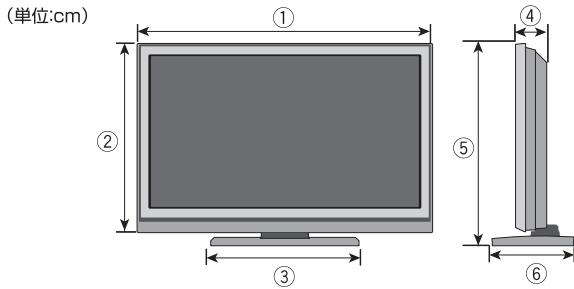
- 使用電源 AC 100 V、50/60 Hz
- 消費電力  
LT-47LH805:  
① 319 W ② 0.2 W ③ 29 W ④ 265 kWh/年  
LT-42LH805:  
① 255 W ② 0.2 W ③ 29 W ④ 205 kWh/年  
LT-37LH805:  
① 227 W ② 0.2 W ③ 29 W ④ 187 kWh/年  
① 消費電力  
② 待機時消費電力  
③ BS・110度CSデジタルチューナー部動作時  
(機能待機時)(BS・110度CSコンバーター  
最大4Wを除く)  
④ 年間消費電力量[スタンダード時]
- 区分名 BII

## 入出力端子

- アンテナ端子  
VHF/UHF: 75Ω、F型  
地上デジタル: 75Ω、F型(CATV(VHF)も対応)  
BS・110度CS: 75Ω、F型  
(BS・110度CSコンバーター用電源DC15V  
4W 重畳)
- ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3入力端子  
S1映像(S映像)(ビデオ3を除く):  
Y: 1 V(p-p)、75Ω、同期負  
C: 0.286 V(p-p)(バースト信号)、75Ω  
映像: 1 V(p-p)、75Ω、同期負  
音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス
- ビデオ3コンポーネント映像入力端子  
(1125i)  
Y: 1 V(p-p)、75Ω±20%  
同期信号分±0.30 V(p-p)、3値同期  
Pb、Pr: ±0.35 V(p-p)、75Ω±20%  
(750p/525p/525i)  
Y: 1 V(p-p)、75Ω、同期負  
Cb、Cr: 0.7 V(p-p)、75Ω±20%
- D4映像入力(ビデオ1)端子映像: D端子(D4)
- HDMI1、HDMI2、HDMI3入力端子  
HDCP対応映像: 1125p/1125i/750p/525p/525i  
音声: 2CH PCM
- HDMI 接続用 アナログ音声入力端子  
音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス
- モニター/録画出力端子  
S1映像: Y 1 V(p-p)、75Ω、同期負  
C: 0.286 V(p-p)(バースト信号)、75Ω  
映像: 1 V(p-p)、75Ω、同期負  
音声: 0.5 V(rms)、ローインピーダンス
- i.LINK入出力端子(2系統) 4ピン S400
- 光デジタル音声出力端子 -18 dBm、660 nm  
メニュー設定によりMPEG2 AACとPCMを切り換えて出力
- 電話回線端子 2Pモジュラージャック、  
モデム伝送レート 2400 bps
- ビデオリモートコントローラー出力端子  
ミニジャック
- ヘッドホン端子  
直径 3.5 mm、ステレオミニジャック
- LAN端子(10BASE-T / 100BASE-TX端子)

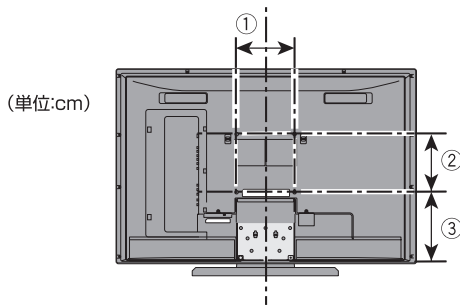
## 外形寸法・その他

LT-47LH805:	① 112.1	② 72.7	③ 50.0
	④ 13.0	⑤ 77.4	⑥ 29.6
LT-42LH805:	① 100.7	② 66.0	③ 50.0
	④ 12.9	⑤ 70.7	⑥ 29.6
LT-37LH805:	① 90.1	② 60.1	③ 41.0
	④ 13.8	⑤ 65.1	⑥ 23.0



### ● 壁掛け金具の取り付け孔位置

LT-47LH805:	① 40.0	② 20.0	③ 28.0
LT-42LH805:	① 40.0	② 20.0	③ 24.6
LT-37LH805:	① 20.0	② 20.0	③ 24.5



### ● 画面角度の調節範囲

左右各20度

### ● 質量

LT-47LH805:	34.2 kg
LT-42LH805:	28.4 kg
LT-37LH805:	22.2 kg

### ● 付属品 14ページ参照

※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。

This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※ テレビのV型(47V型、42V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。

※ 電源を切っても番組表データが取得できるまでは、機能待機時と同様の消費電力となります。

※ 年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

※ 本機は「JIS C61000-3-2適合品」です。

※ 区分名とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)で、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づき区分されたものです。

知る

主な仕様



# 保証とアフターサービス

## 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期限

当社はカラーテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。(→次ページ)

## 修理を依頼されるときは

44～50ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

## 保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ビクター地上・BS・110度CSデジタルフルハイビジョン液晶テレビ
型名	LT-47LH805/LT-42LH805/LT-37LH805
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	( ) -

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## 愛情点検 ●長年ご使用のテレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした心づかいでテレビの安全



## お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきまして、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。

- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

- 1 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
- 2 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。

- お客様の個人情報に関するお問合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。



サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼にならない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
<b>北海道</b>			
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)25-2533	旭川市5条通17-1439-1
	北見 S.S.	(0157)25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	釧路市松浦町3-3
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
<b>東北</b>			
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	八戸市諏訪2-2-36
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.S.	(023)642-0279	山形市松山3-12-18
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	郡山市堤1-3
<b>関東・甲信越</b>			
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027)255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027)255-5921	前橋市大渡町1-10-1日本ビクター(株)前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028)635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029)246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029)246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター(株)水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047)353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)5748-3701	大田区池上2-8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2969番の2 日本ビクター(株)八王子工場第4棟
【業務用機器専門】のご相談窓口			
	ENGサポートセンター 24受付グループ	(03)5631-2235	墨田区八広5-11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045)450-6211	横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 テクノウェイブ100ビル1F
	相模原 S.C.	(042)776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055)227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055)237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025)241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	長岡市下条2-1366-1
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026)221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026)221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	松本市庄内2-4-21

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
<b>東海</b>			
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055)922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	浜松市東区北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	北名古屋九之坪鶴田121-1
	三河 S.C.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(059)352-0841	四日市市堀木2-15-2
<b>北陸</b>			
富山	富山 S.S.	(076)425-2397	富山市二口町4-1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	金沢市新保本4-65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	福井市西開発3-211
<b>近畿</b>			
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
京都	京都 S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	福知山市問屋町47番地市場ハイッ A1F ウチノ電子株式会社内
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742)35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	堺市北区舌舌島梅町3-21-2 伊勢ハイッ
【業務用機器専門】のご相談窓口			
	メンテナンスセンター	(06)6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	神戸市中央区浜辺通2-1-30 三宮国際ビル1F
兵庫西部	姫路 S.S.	(079)234-3833	姫路市中地南町11-1
<b>中国</b>			
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084)931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.S.	(083)973-3708	山口市小郡花園町5-28
島根	松江 S.C.	(0852)31-8900	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857)23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
<b>四国</b>			
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088)622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	松山市中央1-4-12
<b>九州・沖縄</b>			
福岡	福岡 S.C.	(092)431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
佐賀	北九州 S.C.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.S.	(095)862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	宮崎市霧島町3-5-9
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 0407  
● 略号について S.C.はサービスセンターの略称です。 S.S.はサービスステーションの略称です。

知る 保証とアフターサービス

# 著作権

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- i.LINKは、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴはソニー株式会社の商標です。
- SDロゴは商標です。
- DLNAおよびDLNA Certifiedは、Digital Living Network Allianceの商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機から電話回線を使用して通信を行う場合、フリーダイヤル(通話料金無料)でない限り、電話料金はお客様の負担になります。
- 本機は電波産業界規格に基づいた仕様になっております。将来規格の変更があった際は、本機の仕様を変更する場合があります。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報については、メニューボタンを押して、「初期設定」→「デジタル放送共通設定」→「自動ダウンロードの設定」画面を表示中に黄色(情報表示)ボタンを押すと本機のソフトウェアに関する情報が表示されます。
- 有料番組のなかには、その製作者によって「視聴すること」のみ許可されている場合があります。これらのプログラムは著作権保護されており、いかなる目的といえども、著作権者の文書による明示された許可がない限り、コピーまたは再生できません。
- この製品には、株式会社リコーがデザイン製作した下記書体のリコーフォントを使用しています。
  - ・平成丸ゴシック体TM-W4
  - ・平成丸ゴシック体TM-W8
  - ・平成角ゴシック体TM-W5
  - ・Newゴシック体
- マックススペースはWaves Audio LTD. の登録商標です。

- ・ Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
- ・ Gガイドは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
- ・ 米 Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- お助けガイドは株式会社カナックから使いかたナビ®の技術供与を受けています。

## DTLAの説明

著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。

このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像/音声/データを、i.LINKを使ってデジタルコピーできない場合があります。

また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像/音声/データのやりとりができない場合があります。

■ 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

## MPEG2 AACに関する使用特許番号の表示

本機において、MPEG2 AACに関する下記番号の特許(出願中も含む)を使用しています。

特許番号(出願番号)

5,848,391 5,291,557 5,451,954 5,400,433 5,222,189  
5,357,594 5,752,225 5,394,473 5,583,962  
5,274,740 5,633,981 5,297,236 4,914,701 5,235,671  
07/640,550 5,579,430 98/03037 97/02875  
97/02874 98/03036 5,227,788 5,285,498  
5,481,614 5,592,584 5,781,888 08/039,478  
08/211,547 5,703,999 08/557,046 08/894,844  
5,299,238 5,299,239 5,299,240 5,197,087 5,490,170  
5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654 5,548,574  
08/506,729 08/576,495 5,717,821 08/392,756

# 索引

## 英数字

2画面	29
AAC デコーダー	21
B-CAS カード	23
B-CAS カード番号の表示	41
BS/CS デジタル	41
BS 選局ガイドチャンネルの設定	41
CATV 選局方式の設定	40
CATV チャンネルの設定変更	41
CS 選局ガイドチャンネルの設定	41
DCC	38
DLNA	22, 34, 49
DVI	19
D 端子	20
E.E. センサー	39
F 型接栓	17
HDMI	19, 49
HDMI 機器制御設定	42
HD 自動切換設定	40
i.LINK	18
Ir システム	21
MPEG NR	38
SD カード	29, 35
VHF/UHF アンテナ	16

## あ

アクトビラ	33
暗証番号の設定	41
アンテナ	16
アンテナの設定	41
色あい	38
色温度	38
色の濃さ	38
インターネット	22
インテリジェントガンマ	38
衛星情報の設定	41
映像調節	38
映像調節を標準に戻す	39
エコセンサー	29
エコセンサーの効果表示	39
オートピクチャー	38
お買い上げ設定ウィザード	24
お知らせ音の設定	41
お助けガイド	4, 6, 28, 51
オフタイマー	28
オンエア	28, 30
音声切換	28
音量	26

## か

外部映像入力設定	40
各種設定	40
画面位置の調整	40
画面サイズ	27, 40
画面表示	28
機器操作	29, 34
起動優先の設定	42
黒レベル	38
ゲーム機	36
県域の設定	42
コンポーネント端子	20

## さ

サービス切換	29
シアタープロ設定	38
視聴制限	41
視聴設定	38
視聴予約	31
自動ダウンロードの設定	41
字幕	28
シャープネス	38
省エネ設定	39
消音	26
情報	32
初期設定	40
信号切換	29
数字ボタン	7, 26, 27
スピーカー	15
接続録画機器の設定	41
設定のリセット	42
選局ガイド	27

## た

地域設定	41
地域チャンネル合わせ	40
地上アナログ	40
地上デジタル	41
チャンネル	26
チャンネルスキャン	41
チャンネルの設定	40, 41
データ放送	29
デジタル放送共通	41
テレビ消し忘れ防止設定	39
電源	26
電池	14
転倒防止	12
電話線	22
電話の設定	42
独立データ放送	29
トピックス	32

## な

ナチュラルシネマ	40
入力切換	27
ネット操作	33
ネットワーク	42
ネットワーク接続設定	42
年齢による視聴制限の設定	41
ノイズクリア	38

## は

倍速 120 コマ	40
はっきり	28
バックライト	38
番組内容	28
番組表	28, 30
番組表の設定	41
番号入力	7, 27
光デジタル音声出力	21, 42
ピクチャー	38
ひっそり	28
ビデオ 1 入力のモニター出力	40
ビデオカメラ	36
ビデオ入力接続設定	40
ビデオリモートコントローラー	21
放送局名設定	41
ホームメニュー	29, 32

## ま

マックスオーディオ	29, 39
マックスステレオ	39
マックストレブル	39
マックスベース	39
マックスボリューム	39
マルチビュー放送	29
無信号電源オートオフ	39
明/暗選択	29, 38
メール	32
メニュー	29, 37
文字スーパーの設定	42
文字入力方式の設定	42

## や・ら・わ

郵便番号の設定	42
ゆっくり	28
ラジオ放送	29
落下防止	12
リモコンガイド	7, 28
連動データ	28
録画	31
録画映像の設定	42
録画機器	18
録画予約	31

知る

著作権 / 索引





### J-Moss グリーンマーク表示対象製品です

J-Mossとは電気・電子機器の特定化学物質の含有表示を規定するJIS規格で、グリーンマークは特定化学物質(鉛、水銀、カドミウム、6価クロム、PBB、PBDE)を基準値以上含まないことを証明するものです。

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、56ページをご覧ください。

修理に関するご相談

**ビクターサービスエンジニアリング株式会社**  
57ページをご覧ください。

お買い物情報や全般的なご相談

**お客様ご相談センター**  
フリーダイヤル  
 **0120-2828-17**

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(045) 450-8950**

FAX **(045) 450-2275**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

**日本ビクター株式会社**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12